

2024(令和6)年度
秋田県立近代美術館年報
Akita Museum of Modern Art Annual Report, 2024



目 次

沿革	2
美術館の事業紹介	3
2024(令和6)年度事業一覧	5
展示事業	
i 特別展 岩合光昭写真展 こねこ	7
ii 特別展 THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦	13
iii 特別展 金曜ロードショーとジブリ展	20
iv 特別展 「みんなのキンビ」プロジェクト企画 笑う！ はひふへほ展	22
v 企画展 Collection meets □□	25
i コレクション展 第1期 美術館でいましょう	29
ii コレクション展 第2期 水辺の風景	31
iii コレクション展 第3期 空色—うつりゆく景色	32
教育普及事業	
キンビ・創作体験プログラム	33
ミュージアムコンサート	36
美術館講座・美術講演	36
出前美術館・出前美術展	37
ネットワーク推進事業	39
ふれんどりーギャラリー	40
美術館のセカンドスクール的利用	42
博物館実習	44
職場体験、インターンシップ、研修	45
美術館ボランティアAMC（アムック）	46
収集事業	
美術品収集	47
図書資料	49
美術品の貸出	49
美術品保存	
美術品保存・修復	50
重要文化財等指定	50
燻蒸	51
調査・研究業績	52
刊行物	54
入館状況	55
組織	56
関係法規	57
館内図	59
建築・設備概要	61
利用・交通案内	62

沿革

1988(昭和63)年	11月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本構想策定
1989(平成元)年	5月	秋田郷土美術館(仮称)建設基本構想策定
	12月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本計画策定
1990(平成 2)年		文化課に新美術館建設準備担当設置
	6月	用地取得・造成工事着手
1991(平成 3)年	6月	美術館建設工事着手
1993(平成 5)年	6月	美術館建設工事完成
1994(平成 6)年	4月 20日	開館
1997(平成 9)年	10月 2日	天皇・皇后両陛下行幸啓
1999(平成11)年	4月	秋田ふるさと村入村料無料化
2001(平成13)年	1月	展示室以外の館内無料化
	9月 26日	入館者数1,000,000人を達成
2007(平成19)年	10月	入館者数1,500,000人を達成
2013(平成25)年	7月	入館者数2,000,000人を達成
2018(平成30)年	2月～3月	休館し、館内改修工事を実施
2018(平成30)年	4月	リニューアルオープン
	8月	入館者数2,500,000人を達成
2023(令和 5)年	10月	公式ロゴマーク発表
2024(令和 6)年	4月	「公式ウェブサイト」リニューアル 「メタバース×キンビ」公開開始
	12月	入館者数3,000,000人を達成

美術館の事業紹介

◆ 展 示

特別展

美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を対象に特色あるテーマをもった展覧会を開催します。

企画展・コレクション展

当館所蔵作品を中心に、展示替えを行いながら、常時公開するものです。

Exhibition

Special Exhibition

Under a unique theme, native and foreign artwork are displayed in cooperation with other museums and organizations.

Permanent Exhibition

A portion of our collection is regularly displayed and each is rotated every few months.

◆ 収 集

近代以降の優れた美術作品を中心に、近・現代美術の思潮をたどるうえで必要な作品や資料を収集します。

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品及び資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の美術作品や資料

Purchasing Activities

In order to follow the current trends in modern and present day thought in fine art, our collection of fine works concentrates mostly on the postmodern era as described below.

- ① The Akita School of Ranga paintings, early westernstyle paintings in Japan, and the materials associated with these works.
- ② The fine art work of modern artists who are closely connected to, or are from Akita Prefecture, and related materials.
- ③ Works which teach us about the current thought in Japanese fine art, and the materials associated with these works.
- ④ Other native and foreign works which are of great substance, and the materials associated with them.

◆ 保存管理

優れた美術作品の散逸・損傷・亡失を防ぎ、後世に伝えるため、調査研究を行い、良好な環境の中で保存します。

Preservation

We have preserved all of the fine works in the best condition possible in order to prevent them from being scattered, damaged or lost.

We wish to continually improve our research and hand down these collections to future generations.

◆ 調査研究

当館の各種事業の充実を図るため、その基礎となる次のような調査研究活動を行います。

- ①収蔵品に関する調査研究
- ②秋田県の近・現代美術に関する調査
- ③保存・管理、教育普及活動、展示活動、創作に関する調査研究
- ④その他の調査

Research Activities

We are constantly researching in order to increase our knowledge and to improve the museum's collections.

- ① Permanent collection
- ② Modern and contemporary fine art from Akita Prefecture
- ③ Topics relating to the creation, exhibition and preservation of art, as well as the contribution of fine art to education
- ④ Other researches

◆ 広報出版

県民に親しまれる芸術文化活動の拠点として、種々の印刷物の刊行やマスメディアとの連携等により、美術館事業に関する情報を提供します。

Publicity Works Activities

As a center of art and cultural activity for People in Akita, we provide information about museum operations through pamphlets and the mass media.

◆ 教育普及

誰もが気軽に利用できる美術館を目指し、展示活動を始め
講演会・美術館講座・実技講座等様々な事業を行います。
また、美術館ボランティアAMC(アムック)との連携によって、
さらに積極的な普及活動を行います。

Educational Activities

In cooperation with the museum volunteer group (AMC),
we hold various lectures, seminars and workshops.



秋田県立近代美術館 地下1階エントランスホール

2024(令和6)年度事業一覧

月	5階展示室	6階展示室	△移動展等	◇特別展・企画展関連イベント等
2024				
4	4月20日(土)～7月15日(月・祝) 特別展 岩合光昭写真展 こねこ	4月11日(木)～7月1日(月) 開館30周年記念コレクション展 第1期 美術館であいましょう	◇岩合光昭写真展 こねこ ・岩合光昭氏 講演会&サイン会 5月5日(日) 1回目 11:00～ 2回目 14:00～ ・ABSアナウンサーと担当学芸員によるギャラリートーク 5月26日(日)、6月23日(日) 各日14:30～15:00	
5				
6				
7	7月20日(土)～9月23日(月・祝) 特別展 THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦	7月5日(金)～9月16日(月・祝) 開館30周年記念コレクション展 第2期 水辺の風景	◇THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦 ・記念講演会「新版画の誕生とその魅力」 7月20日(土) 13:30～15:00 講師：渡邊章一郎氏（渡邊木版美術画舗 代表取締役） ・担当学芸員によるギャラリートーク 8月4日(日)、8月31日(土) 14:00～14:30	
8				
9				
10	10月12日(土)～1月13日(月・休) 特別展 金曜ロードショーとジブリ展		△能代エナジアムパーク出前美術展 「みて さわって たのしむ！ キンビアート★」 主催：東北電力(株)能代エナジアムパーク、近代美術館 会期：9月11日(水)～26日(木) 会場：能代エナジアムパーク カルチャーホール	
11				
12			△ネットワーク事業 「物語のある絵画～近代美術館のコレクションから～」 主催：県立図書館、近代美術館 会期：11月15日(金)～12月24日(火) 会場：県立図書館2階特別展示室	
2025	12/30(月)～1/1(水)年末年始休館			
1	金曜ロードショーとジブリ展			
2	2月8日(土)～3月9日(日) 特別展 「みんなのキンビ」 プロジェクト企画 笑う！ はひふへほ展	1/22(水)～31(金)メンテナンス休館	◇笑う！ はひふへほ展 ・オープニングイベント（アート鑑賞会、トークセッション） 2月8日(土) 13:00～16:00 ・「うちのあかり」のメンバーとトーク&アートセッション 2月9日(日) 13:30～15:00 ・「笑う！ はひふへほ展」解剖&解説ツアー 3月1日(土) 13:30～15:00 ・クロージング座談会「笑いの部屋」 3月9日(日) 13:30～15:00 ・キンビコミュニケータによる各種ワークショップ ①キンビの笑う城 ②カフェ7階 2月22日(土)、3月2日(日) ③おしゃべり鑑賞会 2月23日(日)、3月2日(日)	
3	3月15日(土) ～4月29日(日) 企画展 Collection meets □□	2月5日(水)～4月13日(日) 開館30周年記念コレクション展 第3期 空色—うつりゆく景色	◇Collection meets □□ ・担当学芸員によるギャラリートーク 3月23日(日) 13:30～14:10	

- ◆2024年度 秋田県立近代美術館 美術館講座
特任館長講座
『江戸時代の美術と文化III 宗達・光琳・抱一』
- 5月11日(土) 宗達の金銀泥絵一本阿弥光悦と
江戸時代初期の京都
- 6月 8日(土) 俵屋の宗達から法橋宗達へ
(水墨画・扇面画ほか)
- 7月13日(土) 宗達の後半生と屏風絵の制作
—《風神雷神図屏風》ほか
- 8月24日(土) 光琳の前半生とその制作
—《燕子花図屏風》を中心には
- 9月21日(土) 光琳の後半生とその制作
—《紅白梅図屏風》を中心には
- 10月26日(土) 光琳と弟・乾山との合作、そして
乾山の陶器・絵画制作
- 11月16日(土) 抱一前半生とその制作
—浮世絵・狂歌から光琳百回忌供養
- 12月 7日(土) 抱一後半生とその制作
—江戸の文化人との交流と屏風絵
制作

講師：仲町啓子
(秋田県立近代美術館特任館長・実践女子大学文学部名誉教授)
会場：秋田県立近代美術館6階研修室



☆5月10日(金)～6月9日(日) ふれんどりーギャラリー

佐藤悟氏 「佐藤悟 日本画展」



●5月18日(土)・19日(日)

美術館教室「日本画教室 静物を描こう」

講師：佐藤悟氏（日本美術院院友）

●7月28日(日)

みんなの教室「木でつくる からくりボックス！」



●8月3日(土) きっずあーと「おさかなすいぞくかん」



◎8月18日(日) ミュージアムコンサート

「平丈恵マンドリンコンサート」



●9月1日(日) きっずあーと「スタンプぺったんアート」



●9月8日(日)

美術館教室「アクリル画教室」

講師：永沢碧衣氏（絵画作家）



☆10月12日(土)～11月17日(日) ふれんどりーギャラリー

伊藤由美子氏「伊藤由美子 版画展」



●10月26日(土)・27日(日)

美術館教室「版画教室3 ドライポイントエッティングの

混合技法で銅版画に挑戦！」

講師：伊藤由美子氏（版画家）



●12月1日(日) みんなの教室「羽子板に描こう！」



2024

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2025

1

2

3

展示事業

i. 開館30周年記念特別展

岩合光昭写真展 こねこ

会期 2024(令和6)年4月20日(土)～7月15日(月・祝)【87日間】

主催 岩合光昭写真展「こねこ」実行委員会
(秋田県立近代美術館・ABS秋田放送)

後援 横手市、横手市教育委員会、秋田魁新報社、河北新報社
担当 保泉充、藤井正輝

世界中を旅しながら、海、山、砂漠など様々な場所に住む多くの動物たちを撮影する一方で、我々の身近なネコも撮影している岩合光昭氏。本展では、世界中の子ネコを《日本》《アジア》《ヨーロッパ》《中南米》《アフリカ》の5章に分けてご紹介した。これに加え、当館では第6章としてアザラシやシロクマ、カンガルーなど、野生動物の親子を写した《どうぶつ家族》を特別展示した。期間中開催した岩合氏による講演会&サイン会には多くのファンが訪れ、岩合氏のネコ話に熱心に耳を傾けていた。さらに、来場者からは自宅で飼っているネコの写真を持参してもらい、展示室入口をネコ写真で一杯にしてもらうなど、展覧会中はネコであふれる美術館となつた。



Japan

No	解説	寸法(cm)	撮影地
1	生まれて2日目のこねこ。	600×800	青森県、板柳町
2	ぎごちない動きが、守りたいと思わせます。	600×800	青森県、板柳町
3	こねこがおっぱいを飲んでいるとき、母親は動かないようにしてやります。	1125×1500	青森県、板柳町
4	母親の匂いや動きに、すべてを合わせます。	1125×1500	青森県、板柳町
5	母親が出かけると兄妹で固まります。	600×800	青森県、板柳町
6	息の合った冒険の始まりです。	1500×1125	青森県、板柳町
7	一緒に暮らしているオスが匂いを確かめています。	600×800	青森県、板柳町
8	母親が帰ってくると、真っ先に甘える息子です。	1125×1500	青森県、板柳町
9	父と娘です。	600×800	青森県、弘前市
10	母親を飛び越える、やんちゃな娘です。	800×600	青森県、弘前市
11	車庫の扉、こねこにとってご機嫌なロープがぶら下がっています。	420×560	北海道、室蘭市
12	1匹が夢中になると兄妹にも火がつきます。	420×560	北海道、室蘭市
13	最初のこねこに占有権があるのかな。	420×560	北海道、室蘭市
14	見ていたこちらに気付いたようです。	600×800	北海道、室蘭市
15	こねこ同士、目にも止まらぬ動きです。	600×800	宮城県、田代島
16	勢いあまって間違えることはよくあります。	600×800	宮城県、田代島
17	お兄ちゃんが遊びを仕掛けてきます。	600×800	宮城県、田代島
18	お兄ちゃんの誘いは執拗です。	600×800	宮城県、田代島
19	こうなったら諦めます。	600×800	宮城県、田代島
20	母と子、安心の繋がりです。	600×800	宮城県、田代島

21	同じ毛模様の子は特別にかわいいですか、と聞きたくなります。	1125×1500	宮城県、田代島
22	近所のオスが覗きにきます。顔見知りのようです。	600×800	宮城県、田代島
23	お母さんと一緒に寝ます。	600×800	宮城県、田代島
24	睡魔には抗えません。	600×800	大分県、深島
25	眠くともこねこには寛容です。	600×800	大分県、深島
26	温かい海とヒトに育てられています。	600×800	沖縄県、本部町
27	海からの風が心地よく、自然と集まります。	420×560	沖縄県、本部町
28	飛んできた相手に不足はありません。	420×560	沖縄県、本部町
29	好意は受け入れられます。	420×560	沖縄県、本部町
30	クロネコの敏捷な動きに目が離せなくなります。	420×560	京都府、京都市
31	相手をよく見ています	420×560	京都府、京都市
32	—	420×560	京都府、京都市
33	花もこねこも家のヒトの自慢です。	600×800	愛媛県、青島
34	木枯らしに舞う葉を見ています。	600×800	広島県、庄原市
35	花の中にいる虫を見ています。	600×800	広島県、庄原市
36	U字溝の中はこねこたちの歩道です。	600×800	北海道、積丹半島
37	路地でゴロンゴロン、両脚を踏んばって弾みをつけます。	1500×1125	東京都、台東区

Asia

No	解説	寸法(cm)	撮影地
38	微笑みの国ブータンのこねこたち。	1125×1500	ブータン、パロ
39	狩りではなく遊びだとカエルも知っているようです。	600×800	ブータン、パロ
40	仕事中、癒されます。	600×800	ベトナム、ハノイ
41	世界広しと言えど、こねこの動きは変わりません。	600×800	ベトナム、チャンアン
42	まず大きさで、相手を知ります。	1125×1500	ベトナム、チャンアン
43	多勢に無勢、でも負けない。	600×800	ベトナム、チャンアン
44	収穫の喜びをこねこも感じているようです。	420×560	マレーシア、アナライス村
45	大きなネコがやってくると一瞬、固まります。	420×560	マレーシア、アナライス村
46	こねこの時間に戻ります。	420×560	マレーシア、アナライス村
47	イヌの好意はこねこの恐怖。	600×800	マレーシア、アナライス村
48	あらゆる隙間に対応します。	1125×1500	インドネシア、バリ島
49	ご主人について行けるのはここまでです。	800×600	スリランカ、ゴール
50	ご主人は杭乗り漁法の漁師さん、小魚を釣ってくれます。	1125×1500	スリランカ、ゴール
51	いつでもどこでも一瞬にして真剣モード。	600×800	スリランカ、ゴール
52	ココナツを石で割ります。	600×800	フィジー、ボツア村
53	ココナツジュースを飲んだあと、ミルクを食べます。	600×800	フィジー、ボツア村
54	家族の食べ残しをこねこにやります。	600×800	フィジー、ボツア村
55	こねこもイヌも唐辛子農家で暮らしています。	600×800	タイ、チェンマイ
56	黄金の足元に、器用に隠れます。	600×800	タイ、チェンマイ
57	動きは樹上にも広がります。	800×600	タイ、チェンマイ
58	匂いには敏感です。	800×600	トルコ、アワノス村
59	何処でも一緒にいます。	1125×1500	トルコ、カッパドキア

Europe

No	解説	寸法(cm)	撮影地
60	現代のアルプスの少女、彼女の名はクララ。	1600×2400	スイス、ヴェンゲン
61	こねこを探しにきたイヌとも仲良しです。	600×800	スイス、ヴェンゲン
62	母親が迎えにきます。	600×800	スイス、ヴェンゲン
63	玄関脇の小部屋はカウベルとネコの部屋。	1125×1500	スイス、ヴェンゲン
64	いつ見ても微笑ましい母子の語らい。	600×800	ルーマニア、シク

65	真ん中がお母さん、手前がお兄ちゃんです。	600×800	ルーマニア、シク
66	このあと、こねこたちに囲まれました。	600×800	チェコ、プラハ郊外
67	何かを見つけることが成長に繋がります。	420×560	チェコ、プラハ郊外
68	動くことで大きくなります。	420×560	チェコ、プラハ郊外
69	動くことで大きくなります。	420×560	チェコ、プラハ郊外
70	能力の限界を知る一歩です。	560×420	チェコ、プラハ郊外
71	こねこの動きに突然という言葉はないと思います。	600×800	チェコ、プラハ郊外
72	しっぽの動きは、たまりません。	560×420	チェコ、プラハ郊外
73	自分がかわいいと知っているでしょう？と聞きたくなります。	600×800	チェコ、プラハ
74	間違いなく、幼気盛り。	600×800	チェコ、プラハ
75	どんなに小さくとも、それぞれに自我があります。	1125×1500	ベルギー、モンス
76	お母さんの気配がします。	600×800	ベルギー、モンス
77	はじめての子育て、頑張り屋のお母さんです。	600×800	ベルギー、モンス
78	修道士さんの慈しみを受けています。	600×800	キプロス、キッコー修道院
79	甘え上手と甘え下手。このあと下の子も抱っこされました。	600×800	キプロス、キッコー修道院
80	眠いから寝ます。	600×800	キプロス、レフカラ
81	伝統刺繡も子育ても守り継がれます。	600×800	キプロス、レフカラ
82	世の中を知る第一歩です。	600×800	ギリシャ、イドラ島
83	バラの香りに包まれて、花より小さな顔のこねこです。	800×600	ギリシャ、ミコノス島
84	空を舞うことは、DNAに組み込まれていると思います。	1125×1500	ブルガリア、ボリコヴォ
85	授乳を終えた母親が、すっと離れます。	600×800	ブルガリア、ボリコヴォ
86	外の空気を吸わせようと、ご主人がウマ小屋から抱えてきます。	600×800	ブルガリア、シヴィノ
87	ご主人の匂いが大好き、落ち着く大きさも気に入っています。	600×800	ブルガリア、シヴィノ
88	アントニオ・ガウディが造った公園の壁で、こねこが育ちます。	420×560	スペイン、バルセロナ
89	アントニオ・ガウディが造った公園の壁で、こねこが育ちます。	420×560	スペイン、バルセロナ
90	母親の賢さ、たくましさに脱帽です。	600×800	スペイン、バルセロナ
91	こねこの青い目は生後1カ月ほどまでです。	600×800	スペイン、レケイティオ
92	目の高さを合わせれば、負けないとと思いましたか。	600×800	イタリア、コルレオーネ
93	石の家で暮らしています。	600×800	イタリア、アルベロベッロ
94	ベネチアでシリアーノと呼ばれるキジトラ模様。中世の時代、シリ アからネズミ退治をしにきてくれたと感謝されています。	800×600	イタリア、ベネチア
95	こねこを見守る、母親の顔が優しい。	800×600	イタリア、エルバ島
96	たくさんのネコが暮らすパブ、ご主人はこねこのために自室を開放 します。	600×800	イングランド、ブリストル
97	他のネコは入れないので、安心して休めます。	600×800	イングランド、ブリストル
98	アイスランド固有種のヤギ牧場で暮らしています。	1125×1500	アイスランド、レイクホルト
99	遊んでいてもお構いなし、飼料の干し草が降ってきます。	600×800	アイスランド、レイクホルト
100	お互いの匂いを確かめます。	600×800	アイスランド、レイクホルト
101	溶岩大地に苔が育つまで、長い年月を要します。	600×800	アイスランド、セルフォス
102	生後約1カ月のこねこたちが、今を生きます。	600×800	アイスランド、セルフォス

Latin America

No	解説	寸法(cm)	撮影地
103	歳を重ねるほど、こねこの愛らしさを感じます。	1125×1500	メキシコ、グアナファト
104	強面ですが、こねこが道に飛び出さないよう見守っています。	1125×1500	メキシコ、グアナファト
105	朝日が射すと、母親が出てきます。	600×800	メキシコ、グアナファト
106	毛長のミケはちょっとシャイでした。	600×800	メキシコ、グアナファト
107	女の子の動きには注意を払います。	600×800	コスタリカ、プラジャ・ガルサ村
108	おばあちゃんには気を許します。	800×600	コスタリカ、プラジャ・ガルサ村
109	葉陰を調整するために、山刀で切り落としたバナナの葉でくつろぎ	800×600	コスタリカ、サンペドロ村

ます。

110	世界一標高が高い湖、毎日が高地訓練です。	600×800	ペルー、タキーレ島
111	チチカカ湖の伝統織物。邪魔ではなくお手伝いしているつもり？の ようです。	1600×2400	ペルー、タキーレ島
112	トトラという植物を編み組んだ浮島で暮らしています。	1125×1500	ペルー、ウロス島
113	高地なので直射日光は強烈です。	600×800	ペルー、ウロス島
114	みんな浮島育ちです。	600×800	ペルー、ウロス島
115	ワイナリーにきたばかりのこねこたちがブドウを食べます。	600×800	ウルグアイ、カルメロ
116	ご主人が選果をしています。お手伝いのつもりでしょうか。	600×800	ウルグアイ、カルメロ
117	文豪ヘミングウェイはここで『老人と海』を執筆しました。	600×800	キューバ、コヒマル
118	ヘミングウェイもこの景色を見ていました。	420×560	キューバ、コヒマル
119	兄妹ですが、先頭を切るのはメスです。	420×560	キューバ、コヒマル
120	メスが先に浜へ上がります。	420×560	キューバ、コヒマル
121	集合住宅の出入り口で。	600×800	キューバ、ハバナ
122	こねこを見せてくれようとした少年、このあと一緒にひっくり返つ て大笑いします。	600×800	キューバ、ハバナ
123	いつもこうやって運ばれます。	1125×1500	ジャマイカ、ブルーマウンテン山脈
124	冷たいブルーマウンテンの実が心地よく、寝てしまいます。	600×800	ジャマイカ、ブルーマウンテン山脈
125	収穫カゴに入ると、落ち着きます。	600×800	ジャマイカ、ブルーマウンテン山脈
126	バナナの葉がブルーマウンテンの木に、程良い葉陰を作ります。	600×800	ジャマイカ、ブルーマウン
127	ブルーマウンテンコーヒー農園の兄妹です。	1125×1500	ジャマイカ、ブルーマウンテン山脈
128	漁師はこねこをとても大切にしています。	600×800	ジャマイカ、ポートアントニオ

Africa

No	解説	寸法(cm)	撮影地
129	肥沃なナイル川沿岸の農家の庭先で。	1125×1500	エジプト、ルクソール
130	ルクソール神殿の案内おじさんのこねこです。	600×800	エジプト、ルクソール
131	家畜(ネコ)が増えたのを喜んでいます。	600×800	エジプト、ルクソール
132	土産物と間違えて買われてしましますよ。	600×800	エジプト、カイロ
133	ナイル川の澄んだ水と澄んだ空、少年が家のこねこをボートに乗せ てきます。	1500×1125	エジプト、エレファンティネ島
134	少年がこねこを抱っこして、母親のもとへ運ぼうとします。	600×800	エジプト、エレファンティネ島
135	母親は1週間に3回も、こねこを移動しました。	600×800	エジプト、エレファンティネ島
136	母親はこねこたちを守りながら、生き方の手本を見せます。	1125×1500	エジプト、エレファンティネ島
137	漁師小屋に暮らすこねこたちが、船の帆で遊びます。	600×800	タンザニア、ザンジバル
138	夕刻、母親がこねこを迎えにきます。	600×800	タンザニア、ザンジバル
139	屋台下で育ったこねこたち、外へ出るようになると、急速に遊びの 領域が広がります。	600×800	モロッコ、マラケシュ
140	しっぽは最高の遊び道具、こねこが連なります。	600×800	モロッコ、マラケシュ
141	成長は早く、数日で、屋台下に潜り込むのがきつくなります。	800×600	モロッコ、マラケシュ
142	車輪がいろいろな役目をしています。	1600×2400	モロッコ、マラケシュ
143	気配がすると思ったら、職人たちの仕事場の隅に母子を見つけま す。	600×800	モロッコ、マラケシュ
144	遊んでいた枝が跳ね返ってきます。	600×800	モロッコ、マラケシュ
145	「そんなにかわいかったら持って帰りな」と言われます。	800×600	モロッコ、アイト・ベンハドゥ
146	拠り所があると、安心して眠れます。	600×800	モロッコ、エッサウイラ
147	ひとりでたくましく歩くこねこと出会います。	600×800	モロッコ、エッサウイラ
148	雨上がりの広場、どんなに小さくても存在感があります。	1125×1500	モロッコ、エッサウイラ

特別展示「動物家族」

No	解説	寸法(cm)	撮影地
149	オーストラリアアシカの生後3ヶ月頃は遊びざかりです。	520×780	カンガルー島・オーストラリア・オセアニア
150	タテゴトアザラシの赤ちゃんの誕生です母子の模様は似ていません が1ヶ月後には母親そっくりになるほど成長します。	520×780	セントローレンス湾・カナダ・北米
151	雪よりも白い生後約2ヶ月のホッキョクグマの赤ちゃんです。	520×780	マニトバ州・カナダ・北米
152	北風を避ける灌木の茂みがホッキョクグマの今夜の寝場所です。子 は母親に温かく抱かれて休息します。	520×780	ハドソン湾・カナダ・北米
153	アカカンガルーの子が生きていけるかどうかは母親についていく体 力で決まります。	520×780	スタート国立公園・オーストラリア・オセアニア
154	朝の涼しい時間にファイトするアカカンガルーのオスたちです。	520×780	キンチェガ国立公園・オーストラリア
155	セキセイインコが恋をささやくのは乾いたクリークの辺りです。	520×780	スタート国立公園・オーストラリア・オセアニア
156	移入種のアナウサギ、ヨーロッパからオーストラリアに持ち込まれ て大陸に広がります。	520×780	フリンダース山脈国立公園・オーストラリア・オセアニア
157	ライオンの子たちが走りだします。走って追いかけて相手を倒すこ とは生きるための勉強です。	520×780	マサイマラ国立保護区・ケニア・アフリカ
158	ライオンの家族であるもう1頭のメスから狩りに誘われますが、子 を遊ばせているメスはためらっています。	520×780	セレンゲティ国立公園・タンザニア・アフリカ
159	秋はニホンザルの繁殖期です。群れから少し離れてカップルがいま す。	520×780	地獄谷温泉・長野県・日本
160	オラウータンは森で暮らしています。食べる果物を探しながら森を 移動します。	520×780	タンジュンプティン国立公園・インドネシア・アジア
161	サンバーはひとしきり水草を食べると湖から森へと移動します。	520×780	ランタンボール国立公園・インド・アジア
162	ケープヤマシマウマの母子です。エリカの咲く丘で。	520×780	ポンデボック国立公園・南アフリカ・アフリカ

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『秋田魁新報』『すいよう学芸館「美を知る」	4/17
『読売新聞』『ギャラリー』	4/17
『秋田魁新報』『愛くるしい表情160点』	4/25
『河北新報』『東北の美術館・博物館』	4/30
『秋田魁新報』『岩合さん、写真展で講演会』	5/14
『河北新報』『東北の美術館・博物館』	5/28
『秋田魁新報』『入場者1万人を突破』	6/27
『秋田タウン情報』	5月号
『どあっぷなう』	5月号
『ギャラリー』	5~6月号
『月刊美術』	5~7月号
『mari mari』vol.758	6/8~6/16号

【テレビ・ラジオ等】

ABSラジオ/NHKラジオ 隨時

【インターネット等】

アートアジェンダ/美の国あきたネット/ウォーカープラス/Event Bank
Internet Museum

◇会場風景



ABSアナウンサーと担当学芸員によるギャラリートーク



岩合光昭氏 講演会&サイン会

ii. 開館30周年記念特別展

THE 新版画

版元・渡邊庄三郎の挑戦

会期 2024(令和6)年7月20日(土)～9月23日(月・振休)【66日間】

主催 新版画展実行委員会

(AAB秋田朝日放送・秋田県立近代美術館)

特別協力 株式会社渡邊木版美術画舗

企画協力 株式会社アートワン

後援 横手市、横手市教育委員会、秋田魁新報社、
朝日新聞秋田総局、毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、
河北新報社、産経新聞秋田支局、日本経済新聞社秋田支局、
横手経済新聞、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、
AKT秋田テレビ、岩手朝日テレビ、エフエム秋田、
横手かまくらFM、エフエムゆーとぴあ、FMはなび

担当 当 秋田達也、北島珠水



新版画を牽引し世に広めた版元・渡邊庄三郎の挑戦の軌跡をたどりつつ、伊東深水や川瀬巴水らの貴重な作品をとおして新版画の魅力を紹介した。風景画を中心に美人画・役者絵・花鳥画など約190点の作品により構成された展示室で、新版画の瑞々しい情趣や清新な感覚にたっぷりと浸っていただけたのではないだろうか。

全国を巡回している本展だが、当館では巴水が描いた秋田の風景画5点が特別出品された。男鹿をはじめ八郎潟や田沢湖といった景勝地はもちろん、秋田市内の空素沼や土崎なども描かれており、およそ100年前の美しい風景がノスタルジックにも感じられた。会期中には、渡邊木版美術画舗の渡邊章一郎氏による講演会や担当学芸員によるギャラリートークなども行った。入場者数としては期待していたほどではなかったが、アンケートなどでの満足度は高く、新版画の魅力は十分に伝わったものと思う。

I 「新版画」の誕生 The Birth of SHIN-HANGA “New Prints”

No	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)
1	高橋松亭	あやせ川の雪	大正4年(1915)	16.5×37.2
2	フリツツ・カペラリ	鏡の前の女	大正4年(1915)	40.1×17.3
3	フリツツ・カペラリ	黒猫を抱く女	大正4年(1915)	21.0×31.5
4	フリツツ・カペラリ	傘(雨中女学生帰路の図)	大正4年(1915)	26.6×19.8
5	フリツツ・カペラリ	柘榴に白鳥	大正4年(1915)	19.1×19.4
6	フリツツ・カペラリ	枯野より富士山	大正5年(1916)	27.0×41.0
7	フリツツ・カペラリ	松	大正9年(1920)	30.8×30.2
8	橋口五葉	浴場の女	大正4年(1915)	40.1×26.2
(参1)	橋口五葉	化粧の女	大正7年(1918)	51.2×36.2
(参2)	チャールズ・W・バートレット	ポンディシェリー	大正3年(1914)	37.5×25.9
9	チャールズ・W・バートレット	ベナレス水辺	大正5年(1916)	30.2×22.4
10	チャールズ・W・バートレット	ベナレス水辺	大正5年(1916)	30.2×22.4
11	チャールズ・W・バートレット	カシミールの村寺	大正5年(1916)	25.2×37.0

12	チャールズ・W・バートレット	インドの絹商人	大正5年(1916)	25.3×38.0
13	チャールズ・W・バートレット	横浜根岸の雪	大正5年(1916)	35.5×22.8
14	チャールズ・W・バートレット	神戸の雨中	大正5年(1916)	36.0×23.0
15	チャールズ・W・バートレット	三保の松原	大正5年(1916)	22.8×35.3
16	チャールズ・W・バートレット	牛臥の漁船	大正5年(1916)	22.7×35.6
17	チャールズ・W・バートレット	京都の寺院前	大正5年(1916)	23.0×36.0
18	チャールズ・W・バートレット	鎌倉大仏	大正5年(1916)	22.9×35.8
19	チャールズ・W・バートレット	ホノルル浪乗り	大正8年(1919)	26.3×38.2
20	チャールズ・W・バートレット	ホノルル浪乗競争	大正8年(1919)	25.3×37.1
21	チャールズ・W・バートレット	ホノルル漁夫	大正8年(1919)	25.3×36.8
22	伊東深水	対鏡	大正5年(1916)	43.2×28.3
23	伊東深水	遊女	大正5年(1916)	42.3×22.2
24	山村耕花	四代目尾上松助の蝙蝠安	大正6年(1917)	39.9×27.7
25	名取春仙	初代中村鴈治郎の紙屋治兵衛	大正5年(1916)	51.0×24.9
26	名取春仙	六代目尾上梅幸のお富	大正6年(1917)	50.4×25.4
27	伊東深水	泥上船	大正6年(1917)	52.3×32.0
28	伊東深水	真昼	大正6年(1917)	33.2×23.4
29	伊東深水	近江八景の内 栗津	大正6年(1917)	20.1×29.8
30	伊東深水	近江八景の内 比良	大正6年(1917)	19.8×29.6
31	伊東深水	近江八景の内 三井寺	大正6年(1917)	29.8×20.0
32	伊東深水	近江八景の内 矢橋	大正6年(1917)	19.9×30.0
33	伊東深水	近江八景の内 石山寺	大正6年(1917)	29.9×19.9
34	伊東深水	近江八景の内 唐崎の松	大正7年(1918)	30.0×20.3
35	伊東深水	近江八景の内 堅田浮御堂	大正7年(1918)	29.6×22.3
36	伊東深水	近江八景の内 瀬田の唐橋	大正7年(1918)	20.1×29.8
37	川瀬巴水	塩原おかね路	大正7年(1918)	45.4×17.0

II 多彩な美人画の世界 The World of Portraits of Multifaceted Beauties

No	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)
38	伊東深水	新美人十二姿 初夏の浴	大正11年(1922)	40.8×24.7
39	伊東深水	新美人十二姿 涼み	大正11年(1922)	41.2×24.2
40	伊東深水	新美人十二姿 口紅	大正11年(1922)	40.9×24.0
41	伊東深水	新美人十二姿 おしろい	大正12年(1923)	40.8×24.5
42	伊東深水	眉墨	昭和3年(1928)	26.8×38.0
43	伊東深水	現代美人集第一輯 岐阜提灯	昭和5年(1930)	40.8×25.8
44	伊東深水	現代美人集第一輯 湯の香	昭和5年(1930)	40.9×25.8
45	伊東深水	現代美人集第一輯 汐干狩	昭和6年(1931)	41.0×26.2
46	伊東深水	現代美人集第二輯 おぼろ夜	昭和6年(1931)	41.3×25.9
47	伊東深水	現代美人集第二輯 こたつ	昭和6年(1931)	41.2×25.9
48	伊東深水	現代美人集第二輯 吹雪	昭和7年(1932)	41.6×25.6
49	伊東深水	現代美人集第二輯 洗ひ髪	昭和11年(1936)	40.2×26.5
50	伊東深水	髪	昭和28年(1953)	49.3×34.9
51	小早川清	舞踏	昭和9年(1934)	41.4×25.5

(参3) 小早川清	近代時世粧ノ内 一 ほろ酔ひ	昭和5年(1930)	43.5×27.4
52 平野白峰	対鏡 (鏡の前)	昭和7年(1932)	45.4×26.4
53 平野白峰	夏姿 (別府)	昭和11年(1936)	48.5×23.0

III 新たな風景画の出現 The Emergence of New Landscapes

No	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)
54	高橋松亭	雪月花 根方の桜	大正11年(1922)	36.1×24.3
55	高橋松亭	都南八景の内 馬込	大正11年(1922)	24.2×36.3
56	高橋松亭	和泉橋の雨	大正13-昭和2年(1924-27)	16.7×37.6
57	高橋松亭	星の夜	大正13-昭和2年(1924-27)	16.6×37.2
58	高橋松亭	甲州犬目峠	大正13-昭和2年(1924-27)	37.5×16.7
59	川瀬巴水	旅みやげ第一集 陸奥 三鳴川	大正8年(1919)	36.5×24.3
60	川瀬巴水	旅みやげ第一集 松嶽 かつら嶽	大正8年(1919)	24.2×36.5
61	川瀬巴水	旅みやげ第一集 若狭 久出の濱	大正9年(1920)	36.6×24.5
62	川瀬巴水	三菱深川別邸の図 洋館より庭園を望む	大正9年(1920)	36.4×24.1
63	川瀬巴水	東京十二題 こま形河岸	大正8年(1919)	24.0×36.7
64	川瀬巴水	東京十二題 五月雨ふる山王	大正8年(1919)	36.2×24.2
65	川瀬巴水	東京十二題 夜の新川	大正8年(1919)	36.2×24.2
66	川瀬巴水	東京十二題 大根がし	大正9年(1920)	36.5×24.1
67	川瀬巴水	東京十二題 春のあたご山	大正10年(1921)	36.5×24.2
68	川瀬巴水	東京十二ヶ月 三十間堀の暮雪	大正9年(1920)	26.0×26.0
69	川瀬巴水	東京十二ヶ月 月嶋の渡舟場	大正10年(1921)	25.8×25.8
70	川瀬巴水	旅みやげ第二集 宇治平等院の一部	大正10年(1921)	36.5×24.3
71	川瀬巴水	日本風景選集 六 嶽原港眉山	大正11年(1922)	28.8×20.6
72	川瀬巴水	日本風景選集 七 天草より見たる温泉ヶ嶽	大正11年(1922)	28.4×20.7
73	川瀬巴水	日本風景選集 十八 嶽原九十九嶽	大正11年(1922)	20.6×28.4
74	川瀬巴水	日本風景選集 廿三 長崎金屋町	大正12年(1923)	28.4×20.7
75	川瀬巴水	日本風景選集 三十五 出雲美保ヶ関の朝	大正14年(1925)	28.4×20.6
76	川瀬巴水	旅みやげ第三集 周防錦帶橋	大正13年(1924)	24.0×36.3
77	川瀬巴水	旅みやげ第三集 出雲松江(曇り日)	大正13年(1924)	36.4×24.0
78	川瀬巴水	旅みやげ第三集 出雲松江(三日月)	大正13年(1924)	36.4×24.0
79	川瀬巴水	旅みやげ第三集 出雲松江(おぼろ月)	大正13年(1924)	36.4×24.0
80	川瀬巴水	旅みやげ第三集 房州太海	大正14年(1925)	36.3×24.1
81	川瀬巴水	旅みやげ第三集 星月夜(宮嶋)	昭和3年(1928)	36.2×24.0
(特1)	川瀬巴水	旅みやげ第三集 男鹿半嶋蒿雀窟	大正15年(1926)	39.2×26.4
(特2)	川瀬巴水	旅みやげ第三集 田澤湖漢槎宮	昭和2年(1927)	26.2×38.5
(特3)	川瀬巴水	旅みやげ第三集 秋田八郎潟	昭和2年(1927)	38.6×26.2
(特4)	川瀬巴水	旅みやげ第三集 秋田空巣沼	昭和2年(1927)	38.5×26.0
(特5)	川瀬巴水	旅みやげ第三集 秋田土崎	昭和3年(1928)	39.3×27.0
82	川瀬巴水	東京二十景 芝増上寺	大正14年(1925)	36.2×24.0
83	川瀬巴水	東京二十景 新大橋	大正15年(1926)	36.3×24.2
84	川瀬巴水	東京二十景 御茶の水	大正15年(1926)	36.3×24.1
85	川瀬巴水	東京二十景 矢口	昭和3年(1928)	36.3×24.2

86	川瀬巴水	東京二十景 馬込の月	昭和5年(1930)	36. 4×24. 2
87	川瀬巴水	大宮見沼川	昭和5年(1930)	36. 3×24. 0
88	川瀬巴水	鎌倉大佛 [原画]	昭和5年(1930)	36. 2×24. 2
89	川瀬巴水	鎌倉大佛	昭和5年(1930)	36. 4×24. 2
90	川瀬巴水	相州七里ヶ濱	昭和5年(1930)	23. 9×36. 5
91	川瀬巴水	清洲橋	昭和6年(1931)	24. 1×36. 5
92	川瀬巴水	鶴岡八幡宮	昭和6年(1931)	49. 0×32. 9
93	川瀬巴水	上州法師温泉	昭和8年(1933)	36. 3×24. 3
94	川瀬巴水 (版画) 野口謙次郎 (台紙)	ポスター「Japan」(宮島)	昭和7年(1932)	(ホスター) 76. 5×52. 5 (版画) 24. 2×36. 4
95	伊東深水	ポスター「Japan」(道成寺)	昭和7年(1932)	(ホスター) 76. 7×52. 5 (版画) 59. 2×24. 9
96	川瀬巴水	日本風景集 東日本篇 松嶋双子嶋	昭和8年(1933)	23. 8×36. 1
97	川瀬巴水	日本風景集 東日本篇 平泉中尊寺金色堂	昭和10年(1935)	36. 2×23. 9
98	川瀬巴水	日本風景集 東日本篇 弘前最勝院	昭和11年(1936)	36. 2×23. 9
99	川瀬巴水	日本風景集II 関西篇 大坂宗右衛門町の夕	昭和8年(1933)	36. 5×24. 0
100	川瀬巴水	日本風景集II 関西篇 京都清水寺	昭和8年(1933)	36. 2×24. 3
101	川瀬巴水	日本風景集II 関西篇 春の嵐山	昭和9年(1934)	36. 2×24. 0
102	川瀬巴水	東海道風景選集 馬入川	昭和6年(1931)	24. 3×36. 6
103	川瀬巴水	東海道風景選集 馬入川	昭和6年(1931)	24. 2×36. 6
104	川瀬巴水	東海道風景選集 品川	昭和6年(1931)	36. 3×23. 8
105	川瀬巴水	東海道風景選集 日本橋(夜明)	昭和15年(1940)	36. 5×24. 1
106	川瀬巴水	新東京百景 芝大門の雪	昭和11年(1936)	31. 9×22. 8
107	川瀬巴水	新東京百景 中央市場 [原画]	昭和11年(1936)	32. 0×22. 8
108	川瀬巴水	新東京百景 中央市場	昭和11年(1936)	32. 0×22. 5
109	川瀬巴水	弘前城の春	昭和13年(1938)	37. 2×25. 2
110	川瀬巴水	続朝鮮風景 朝鮮智異山泉隱寺	昭和15年(1940)	36. 2×24. 2
111	川瀬巴水	潮来の初秋	昭和17年(1942)	25. 2×34. 2
112	川瀬巴水	湯宿の朝 (塩原新湯)	昭和21年(1946)	25. 3×36. 0
113	川瀬巴水	箱根宮の下 富士屋ホテル 春	昭和24年(1949)	21. 0×39. 5
114	川瀬巴水	箱根宮の下 富士屋ホテル 夏	昭和24年(1949)	21. 0×39. 5
115	川瀬巴水	箱根宮の下 富士屋ホテル 秋	昭和24年(1949)	21. 0×39. 5
116	川瀬巴水	箱根宮の下 富士屋ホテル 冬	昭和24年(1949)	21. 2×39. 5
117	川瀬巴水	雪庭のサンタクロース	昭和25年(1950)	22. 9×21. 2
		(『The Japan Trade Monthly』表紙)		
118	笠松紫浪	青嵐	大正8年(1919)	36. 3×24. 0
119	笠松紫浪	初秋	大正8年(1919)	24. 0×36. 2
120	笠松紫浪	うろこ雲	大正8年(1919)	24. 1×36. 2
121	笠松紫浪	落陽	大正8年(1919)	36. 5×24. 2
122	笠松紫浪	おぼろ月	大正9年(1920)	23. 8×36. 4
123	笠松紫浪	霞む夕べ 不忍池畔	昭和7年(1932)	36. 2×23. 9
124	笠松紫浪	温泉の朝 信州野澤	昭和8年(1933)	36. 2×24. 2
125	笠松紫浪	浅草観音堂大提灯	昭和9年(1934)	36. 2×24. 1

126	笠松紫浪	春の夜 銀座	昭和9年(1934)	36.4×24.1
127	笠松紫浪	お會式 雜司ヶ谷	昭和9年(1934)	35.8×21.0
128	笠松紫浪	雨の新橋	昭和10年(1935)	36.1×24.0
129	笠松紫浪	春雨 湯島天神	昭和10年(1935)	23.8×36.3
130	笠松紫浪	櫻 上野東照宮	昭和10年(1935)	36.2×23.9
131	笠松紫浪	信州白骨温泉	昭和10年(1935)	36.1×24.2
132	笠松紫浪	夕富士 静浦村	昭和12年(1937)	24.8×37.0
133	笠松紫浪	辨慶橋初夏	昭和13年(1938)	36.1×23.9
134	北川一雄	竹林の初夏	大正8年(1919)	23.5×35.8
135	柳原風居	農家	大正11年(1922)	21.3×31.9
136	古屋台軒	旅藝人	大正10年(1921)	24.2×34.3
137	古屋台軒	越後獅子	大正11年(1922)	24.2×36.2
138	吉田博	獵師の話	大正11年(1922)	45.4×32.9
(参4)	吉田博	瀬戸内海集 帆船 朝	大正15年(1926)	51.0×36.0
139	リリアン・M・ミラー	帆船 夕日	大正9年(1920)	27.5×24.3
140	エリザベス・キース	香港の港	大正13年(1924)	31.2×38.5
141	エリザベス・キース	蘇州の街 江蘇省	大正13年(1924)	37.8×25.3
142	織田一磨	松江大橋	大正13年(1924)	23.6×36.2
143	織田一磨	出雲中海白魚採り	大正14年(1925)	24.3×36.5
144	織田一磨	伯耆大山遠望	大正14年(1925)	24.1×36.3
145	伊藤孝之	芦ノ湖の雨景	昭和4年(1929)	24.0×36.5
146	伊藤孝之	明け行く岳川	昭和7年(1932)	36.2×23.9
147	石渡江逸	神奈川子安町所見 (八百屋の店)	昭和6年(1931)	36.2×23.9
148	石渡江逸	葛西三角にて	昭和6年(1931)	36.2×24.0
149	石渡江逸	横濱萬國橋	昭和6年(1931)	36.5×24.2
150	石渡江逸	夜の浅草	昭和7年(1932)	34.2×47.8
151	檜崎栄昭	浅草觀世音の内堂	昭和7年(1932)	36.1×24.4
152	ピーター・I・ブラウン	東京風景	昭和10年頃(c. 1935)	26.4×35.5
153	伊東深水	避暑地の昼	昭和16年(1941)	30.8×43.3

IV モダン役者絵 The New Style of *Yakusha-e* Prints

No	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)
154	伊東深水	屋上の狂人	大正10年(1921)	36.2×26.8
155	山村耕花	七代目松本幸四郎の関守関兵衛	大正8年(1919)	39.9×27.3
156	山村豊成(耕花)	梨園の華 十三代目守田勘彌のジャン ・バルジャン	大正10年(1921)	40.1×27.2
(参5)	山村耕花	踊り 上海ニューカルトン所見	大正13年(1924)	39.8×27.2
157	名取春仙	創作版画 春仙似顔集	大正14年(1925)	38.0×26.0
		十五代目市村羽左衛門の入谷直侍		
158	名取春仙	創作版画 春仙似顔集	大正14年(1925)	38.1×26.0
		初代中村吉右衛門の馬盥光秀		
159	名取春仙	創作版画 春仙似顔集	大正15年(1926)	38.2×25.8
		二代目市川左團次の鳴神		

160	名取春仙	創作版画 春仙似顔集 五代目中村歌右衛門の淀君	大正15年(1926)	37.6×25.6
161	名取春仙	新派似顔絵 大河内伝次郎の丹下左膳	昭和9年(1934)	37.8×25.6
162	山中古洞(辰重)	女優 (酒井米子) [原画]	昭和4年(1929)	38.4×25.2
163	山中古洞(辰重)	女優 (酒井米子)	昭和4年(1929)	37.7×25.6
164	上野忠雅(鳥居忠雅)	隈取十八番 梅王の筋隈	昭和16年(1941)	38.1×24.8
165	上野忠雅(鳥居忠雅)	隈取十八番 景清の忍隈	昭和16年(1941)	37.8×24.5
166	川瀬巴水	中村歌右衛門 雪姫	昭和26年(1951)	36.7×24.2

V 花鳥新版画の魅力 The Charm of SHIN-HANGA Bird-and-Flower Images

No	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)
167	高橋弘明(松亭)	白猫	大正15年(1926)	23.9×33.5
168	高橋弘明(松亭)	ねずみと根菜	大正15年(1926)	24.0×36.6
169	小原祥邨	桜に木菟	大正15年(1926)	36.1×24.0
170	小原祥邨	雁	昭和初期	36.3×24.0
171	小原祥邨	孔雀	昭和初期	36.5×32.2
172	小原祥邨	柘榴に鸚鵡	昭和初期	36.2×23.8
173	小原祥邨	雪中群鷺	昭和初期	36.1×23.9
174	小原祥邨	雪中南天に鶴 [原画]	昭和初期	36.5×24.3
175	小原祥邨	雪中南天に鶴	昭和初期	36.3×24.0
176	小原祥邨	雪中南天に瑠璃鳥	昭和初期	36.3×24.0
177	小原祥邨	月夜池辺の狐	昭和初期	24.0×36.2
178	小原祥邨	萩に兎	昭和4年(1929)	36.2×24.0
179	小原祥邨	金魚鉢に猫	昭和6年(1931)	36.4×23.8
180	小原祥邨	金魚鉢に猫	昭和6年(1931)	36.4×23.8
181	小原祥邨	山葡萄に四十雀	昭和初期	36.3×24.2
182	小原祥邨	鯉と緋鯉 [原画]	昭和10年頃(c. 1935)	31.6×45.3
183	小原祥邨	鯉と緋鯉	昭和10年(1935)	31.7×45.3

■ 資料

No	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)
(資1)		『木版浮世繪大家畫集』	大正4年(1915)	(表紙)42.5×30.5
(資2)		『新作板畫展覽目録』	大正10年(1921)	(表紙)18.2×9.0
(資3)		『木版畫目録』	昭和15年(1940)	(表紙)18.7×12.9
(資4)		『渡邊庄三郎翁祝賀會』案内状	昭和31年(1956)	19.6×43.5
(資5)		制作道具 (彫り道具・摺り道具)	—	—

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

- 『秋田魁新報』すいよう学芸館「美を知る」 7/17
 『横手経済新聞』(web版) 7/20
 『mari mari』「アート探訪」 8/30

【テレビ・ラジオ等】

AAB秋田朝日放送「情報ニュースショー トレタテ！」

7/19

AAB秋田朝日放送「サタナビっ！」

8/10

AAB秋田朝日放送「情報ニュースショー トレタテ！」

9/11

【インターネット等】

アートアジェンダ／美の国あきたネット／ウォーカープラス／Event Bank ほか

◇会場風景



会場風景①



会場風景②

iii. 開館30周年記念特別展

金曜ロードショーとジブリ展

会期 2024(令和6)年10月12日(土)

～2025(令和7)年1月13日(月・祝) 【91日間】

休館日：12月30日(月)～1月1日(水) 【3日間】

主催 金曜ロードショーとジブリ展 秋田展実行委員会
(ABS秋田放送・秋田県立近代美術館)

共催 日本テレビ

特別協賛 au(KDDI株式会社)

協賛 TOPPANクロレ株式会社

展示協力 ア・ファクトリー

特別協力 スタジオジブリ

広報協力 テレビ岩手、山形放送、宮城テレビ

担当 木村雅洋、鈴木京、藤井正輝



日本を代表するアニメーション制作会社「スタジオジブリ」、その作品が広く認知されるきっかけとなったのが日本テレビ系列の長寿映画番組「金曜ロードショー」である。現在でも年に数回定期的にジブリ映画が放映されており、1985(昭和60)年から40年も近く続けられていることを考えると、幼児からお年寄りまで幅広いファンを獲得してきたのは納得のゆくところであろう。本展はスタジオジブリ発足以来の「金曜ロードショー」における放映記録や当時の資料を合わせて展示することで、世相やメディアの変遷を振り返るという構成である。さらに加えて、「風の谷のナウシカ」に登場した王蟲や腐海動植物の実物大模型や、トトロやポニョといった代表的なキャラクターたちが映画の音楽に合わせ次々と壁に映し出されてゆく「幻燈楼」、映画のポスターになりきって写真を撮影できるフォトスタジオなどの体験型のコンテンツを盛り込むことで、幅広い年齢層に楽しんでもらえる内容となっている。東京、富山、京都、広島と巡回してきた本展は、5会場目となる当館で累計入場者数100万人を突破し、10月から1月という例年であれば閑散としがちな冬場にも関わらず、総入場者数17万人超え・1日の入場者数6千人超えは、これまで当館で開催した展覧会で最高値を記録しており、改めてジブリというコンテンツの強さと魅力を再認識する機会となった。

【展示内容】

- ・オープニング映像《プロデューサー・鈴木敏夫が語る 宮崎駿との出会いから、金曜ロードショー「となりのトトロ」初放送まで》
- ・金曜ロードショーとジブリの歴史紹介コーナー (1985～2024)
- ・千と千尋の神隠し「油屋」模型
- ・ジブリのフォトスタジオ (記念撮影コーナー)
～千と千尋の神隠し、崖の上のポニョ、魔女の宅急便、猫の恩返し、もののけ姫
- ・日テレ大時計の原型模型展示
- ・ジブリ作品の幻燈楼
～天空の城ラピュタ、魔女の宅急便、となりのトトロ、紅の豚ほか
- ・風の谷のナウシカ・腐海の森へ
～実物大王蟲、腐海の巨大昆虫・植物及びジオラマの展示

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『教育あきた』 no. 759	8月号
『どあっぷなう』 vol. 43	10月号
『秋田魁新報』 すいよう学芸館「美を知る」 282	10/2
『秋田魁新報』	10/17
『rakra』 vol. 126	11・12月号
『河北新報』	12/4

【テレビ・ラジオ】

ABS秋田放送 「東北初！ 金曜ロードショーとジブリ展」 10/12 ほか

【インターネット等】

美の国あきたネット／Event Bank／Internet Museum ほか

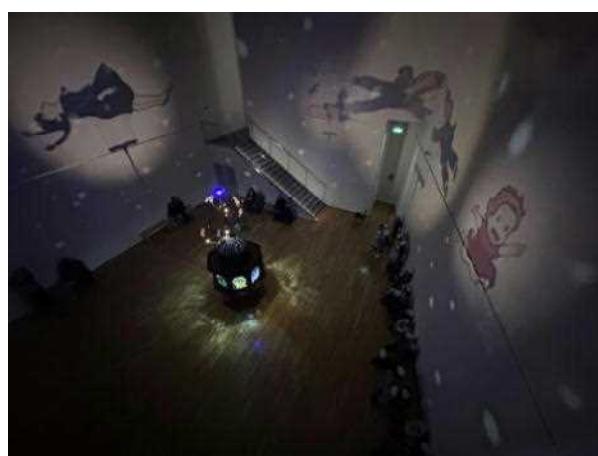
◇会場風景



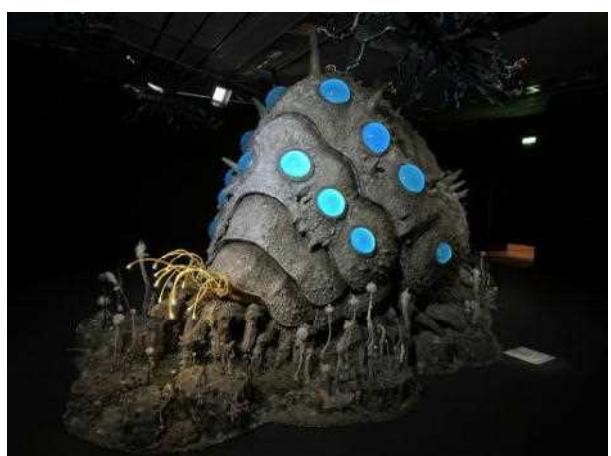
金曜ロードショーとジブリの歴史紹介コーナー



記念撮影コーナー（魔女の宅急便、もののけ姫 ほか）



ジブリ作品の幻燈楼



実物大の王蟲

iv. 特別展

「みんなのキンビ」プロジェクト企画 笑う！ はひふへほ展

会 主期 2025(令和7)年2月8日(土)～3月9日(日)【30日間】
主 催 「みんなのキンビ」プロジェクト実行委員会
NPO法人アーツセンターあきた
NPO法人アートリンクうちのあかり
横手市市民福祉部まるごと福祉課
秋田県産業技術センター
秋田公立美術大学附属高等学院
秋田県立横手支援学校
秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校
事務局：秋田県立近代美術館
企画・トータルディレクション 濵谷和之氏（濱谷デザイン事務所）
協 動 藤 浩志（秋田公立美術大学 教授、NPO法人アーツセンターあきた 理事長）
安藤郁子（秋田公立美術大学 教授、NPO法人アートリンクうちのあかり 代表理事）
林 容子（一般社団法人 ArtsAlive 代表理事）
秋田県産業技術センター
秋田協同印刷株式会社
一般社団法人 秋田県視覚障害者福祉協会
担 当 北島珠水、保泉充、木村雅洋



「みんなのキンビ」プロジェクトは、近代美術館を中心とした多様な主体が連携・協働し、年齢や障害の有無等にかかわらず、アートを通じて人々が出会い、ともに学び合える場を創造する3か年計画の事業である。2年目となる2024年度は、前年度の課題を基に、アートを必要としている人々や美術館を気軽に利用できない状況にある人にアートを届け、交流の場を提供することを目標とした。認知症の方を含む高齢の方向けの鑑賞プログラムを新たに加え、社会的に孤立しがちな子ども・若者向けのアート活動も展開した。視覚に障害のある方の鑑賞を支援するツールの作成や障害のある子どもたちとの交流活動にも引き続き注力した。プロジェクトの成果を紹介する本展では、来場した誰もが楽しめるように、そして、地域や人とのつながりを感じることができるように「笑い」をテーマに据えた。誰にとっても身近で、時に複雑で豊かな「笑い」を切り口にすることで、自分の感情に向き合い、いろいろな人との出会いやつながりが生まれた展示となった。

【展示内容】

○第1展示室

- 1 根子集落という家族の笑顔／船橋陽馬（根子写真館）
- 2 キンビコレクションで笑う
- 3 福笑い～アートを通して「交流及び共同学習」／横手支援学校×増田高等学校
- 4 笑う門には福来たる 草薙デザイン事務所

○第2展示室

- 5 超美術館ロボ キンビオン／ココラボラトリ

- 6 《不忍池図》を“あじわう”鑑賞実験
／秋田県産業技術センター・秋田協同印刷株式会社・一般社団法人 秋田県視覚障害者福祉協会
- 7 能面に「笑い（表情）」を観る／草薙デザイン事務所・石井和章
- 8 渗みあう部屋 アートリンクうちのあかり／「アートリンクうちのあかり」代表 安藤郁子

○第3展示室

- 9 みんなのワハハプロジェクト 秋田公立美術大学・柚木恵介
- 10 薫を笑うな 美郷わらの会+北のくらし研究所
- 11 「出前美術館 in かがやきの丘」から生まれた作品たち
- 12 笑いの多様性／さくら国際高等学校秋田キャンパス

○第4展示室

- 13 小鳩の刺繡と祈りの写真／コバトのコトバ（代表・船木直子）
- 14 キンビ美術部
- 15 笑う写真／視覚支援学校・聴覚支援学校・秋田きらり支援学校
- 16 笑馬に願いを描こう／高性寺+合同会社 運動+澁谷デザイン事務所

【関連イベント・ワークショップ】

1 オープニングイベント

2月8日(土)

テーマ：「誰もが、ずっと、その人らしくいられるためにアートができること」

- (1) 認知症の方や高齢の方とのアート鑑賞会 13:00～14:00

【講師】・林容子氏（一般社団法人 ArtsAlive 代表理事）

- (2) トークセッション 14:30～16:00

【講師】・伊藤達矢氏（東京藝術大学 教授）

・林容子氏（一般社団法人 ArtsAlive 代表理事）

・藤浩志氏（秋田公立美術大学 教授）

2 「うちのあかり」のメンバーとのトーク&アートセッション

2月9日(日) 13:30～15:00

3 「笑う！はひふへほ展」解剖＆解説ツアー

3月1日(土) 13:30～15:00

【解説】・澁谷和之氏（澁谷デザイン事務所）

4 クロージング座談会「笑いの部屋」

3月9日(日) 13:30～15:00

5 キンビコミュニケータによるワークショップ

- (1) キンビの笑う城

展示室入口に常時展示（自由に落書きや、工作ができる参加型の作品）

- (2) カフェ7階

日時：2月22日(土)、3月2日(日) 10:30～16:00

場所：7階キッズルーム

- (3) 視覚に障害のある方とのおしゃべり鑑賞会

日時：2月23日(日)、3月2日(日) 1回目 13:00～／2回目 14:15～

場所：5階展示室

◇会場風景



第2展示室 滲みあう部屋 アートリンクうちのあかり



第3展示室 薫を笑うな



オープニングイベント
認知症の方や高齢の方とのアート鑑賞会



第4展示室 キンビ美術部



「うちのあかり」メンバーとのトーク&アートセッション

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『秋田魁新報』 すいよう学芸館「美を知る」 302

『河北新報』

2/26

11/15、1/24、3/7

【テレビ・ラジオ】

NHKニュースこまち

AAB トレタテ！

CNAシーナチャンネル

NHKもりスタ！

AKTブンカのチカラ

2/19

2/24

2/24

3/4

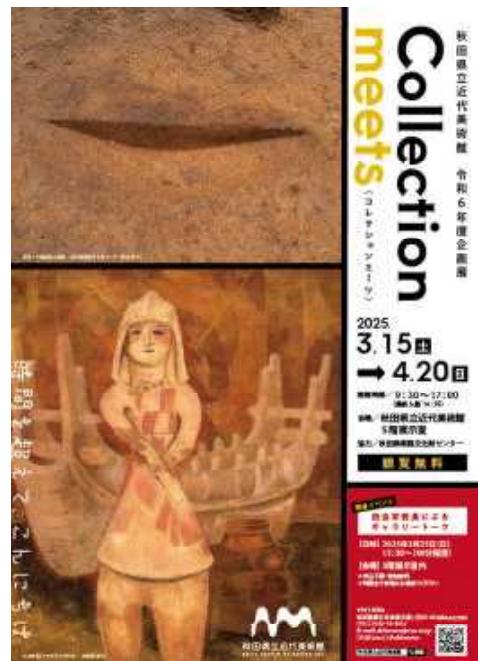
3/7

V. 企画展

Collection meets □□

会期 2025(令和7)年3月15日(土)～4月20日(日)【37日間】
 主催 秋田県立近代美術館
 協力 秋田県埋蔵文化財センター
 担当 鈴木 京、奈良 香

当館の収蔵品（コレクション）と秋田県埋蔵文化財センター所蔵の縄文時代の考古資料、計85点をあわせて展示し、新たな見方や展示空間の創出を目指した展覧会として企画した。遺物がもつ造形要素や背景をもとに5つのテーマを設定し、分類して提示した。遺物と近現代の美術作品との差異や共通点、造形を必要とした人々の思いや背景を読み取りながら、改めて収蔵品の魅力をご覧いただいた。



No	作品名	作家/出土遺跡	年代	素材(美術作品のみ)	所蔵(空欄は秋田県立近代美術館蔵)
箇1	SN4019 土層断面(南から)	茱萸ノ木遺跡 (能代市)	縄文時代中期		秋田県埋蔵文化財センター
1	土器片	茱萸ノ木遺跡 (能代市)	縄文時代中期		秋田県埋蔵文化財センター
2	土器片	茱萸ノ木遺跡 (能代市)	縄文時代中期		秋田県埋蔵文化財センター

1 土偶と人物像を見る

No	作品名	作家/出土遺跡	年代	素材(美術作品のみ)	所蔵(空欄は秋田県立近代美術館蔵)
3	土偶	茱萸ノ木遺跡 (能代市)	縄文時代中期後葉		秋田県埋蔵文化財センター
4	土偶	虫内 I 遺跡 (横手市)	縄文時代後期		秋田県埋蔵文化財センター
5	土偶	虫内 I 遺跡 (横手市)	縄文時代晚期		秋田県埋蔵文化財センター
6	大地 (母子像)	奈良 清四郎	1986(昭和61)	油彩、キャンバス 額装	
7	春を待つ	渡部 榮子	1977(昭和52)	紙本着色 額装	
8	REBIRTH	三浦 明範	2022(令和4)	シルバーポイント、黒鉛、墨、 パネルに綿布、カオリン地 額装	
9	若い婦人像	草薙 興宗	—	絹本着色 軸装	
10	村の踊り子	福田 豊四郎	1935(昭和10)	紙本着色 額装	
11	つかのまの休日	金子 義償	1988(昭和63)	油彩、キャンバス 額装	
12	女1	横山 津恵	1969(昭和44)頃	紙本着色 額装	

2 社会が求める形 縄文土器を見る

No	作品名	作家/出土遺跡	年代	素材(美術作品のみ)	所蔵(空欄は秋田県立近代美術館蔵)
13	深鉢形土器	茱萸ノ木遺跡 (能代市)	縄文時代中期中葉		秋田県埋蔵文化財センター
14	深鉢形土器	茱萸ノ木遺跡 (能代市)	縄文時代中期中葉		秋田県埋蔵文化財センター
15	深鉢形土器	茱萸ノ木遺跡 (能代市)	縄文時代中期中葉		秋田県埋蔵文化財センター
16	深鉢形土器	茱萸ノ木遺跡 (能代市)	縄文時代中期中葉		秋田県埋蔵文化財センター
17	深鉢形土器	茱萸ノ木遺跡 (能代市)	縄文時代中期中葉		秋田県埋蔵文化財センター

18	深鉢形土器	茱萸ノ木遺跡（能代市）	縄文時代中期中葉		秋田県埋蔵文化財センター
19	深鉢形土器	茱萸ノ木遺跡（能代市）	縄文時代中期中葉		秋田県埋蔵文化財センター
20	土器	茱萸ノ木遺跡（能代市）	縄文時代中期中葉		秋田県埋蔵文化財センター
21	土器	茱萸ノ木遺跡（能代市）	縄文時代中期中葉		秋田県埋蔵文化財センター
22	深鉢形土器	茱萸ノ木遺跡（能代市）	縄文時代中期中葉		秋田県埋蔵文化財センター
23	山の秋	福田 豊四郎	1931(昭和6)	紙本着色 6曲1双	
24	深鉢形土器	赤塚遺跡（湯沢市）	縄文時代中期後葉		秋田県埋蔵文化財センター
25	深鉢形土器	赤塚遺跡（湯沢市）	縄文時代中期後葉		秋田県埋蔵文化財センター
26	浅鉢形土器	赤塚遺跡（湯沢市）	縄文時代中期後葉		秋田県埋蔵文化財センター
27	壺形土器	虫内 I 遺跡（横手市）	縄文時代後期後葉～晩期		秋田県埋蔵文化財センター
28	鉢形土器	虫内 I 遺跡（横手市）	縄文時代晩期		秋田県埋蔵文化財センター
29	香炉形土器	虫内 I 遺跡（横手市）	縄文時代後期後葉～晩期		秋田県埋蔵文化財センター
30	注口土器	堀ノ内遺跡（湯沢市）	縄文時代後期後葉		秋田県埋蔵文化財センター

3 自然からのまなざしを見る

No	作品名	作家/出土遺跡	年代	素材(美術作品のみ)	所蔵(空欄は秋田県立近代美術館蔵)
31	土偶	虫内 I 遺跡（横手市）	縄文時代後期		秋田県埋蔵文化財センター
32	異形石器（8点）	ヲフキ遺跡（にかほ市）	縄文時代晩期		秋田県埋蔵文化財センター
33	動物形土製品	堀ノ内遺跡（湯沢市）	縄文時代後期未～晩期初頃		秋田県埋蔵文化財センター
34	注口・人面装飾付土器	堀ノ内遺跡（湯沢市）	縄文時代後期		秋田県埋蔵文化財センター
35	土器	赤塚遺跡（湯沢市）	縄文時代中期後葉		秋田県埋蔵文化財センター
36	生々	莊司 福	1976(昭和51)	紙本着色 額装	
37	六月の森	福田 豊四郎	1936(昭和11)	紙本着色 2曲1隻	
38	冬の木(冬眠から)	木島 恭一	1969(昭和44)	油彩、キャンバス(3枚組) 額装	
39	梟	針生 鎮郎	1979(昭和和54)	シルクスクリーン、紙 額装	
40	梟	針生 鎇郎	1979(昭和和54)	シルクスクリーン、紙 額装	

4 色のイメージ 黒・赤・白を見る

No	作品名	作家/出土遺跡	年代	素材(美術作品のみ)	所蔵(空欄は秋田県立近代美術館蔵)
41	注口土器	堀ノ内遺跡（湯沢市）	縄文時代晩期前葉		秋田県埋蔵文化財センター
42	浅鉢形土器	堀ノ内遺跡（湯沢市）	縄文時代晩期前葉		秋田県埋蔵文化財センター
43	漆製品【県指定有形文化財】	戸平川遺跡（秋田市）	縄文時代晩期		秋田県埋蔵文化財センター
44	漆製品【県指定有形文化財】	戸平川遺跡（秋田市）	縄文時代晩期		秋田県埋蔵文化財センター
45	化石	石田 黙	1978(昭和53)	油彩、キャンバス 額装	
46	白い静物（1974年）	石田 默	1974(昭和49)	油彩、キャンバス 額装	
47	Sleeper	三浦 明範	2018(平成30)	シルバーポイント、黒鉛、墨、 アルキド樹脂、パネルに綿布、 カオリン地 額装	
48	位相・空間'95-1	山脇 佐久子	1995(平成7)	油彩、キャンバス 額装	
49	拡張へ 98-4	山脇 佐久子	1998(平成10)	油彩、キャンバス 額装	
50	乾杯する人々	草薙 隆	1986(昭和61)	油彩、キャンバス 額装	
51	浅鉢形土器	赤塚遺跡（湯沢市）	縄文時代中期後葉		秋田県埋蔵文化財センター
52	鉄石英	トクラ遺跡（東成瀬村）			秋田県埋蔵文化財センター

53	赤色頁岩	トクラ遺跡（東成瀬村）		秋田県埋蔵文化財センター
54	石器	堀ノ内遺跡（湯沢市）	縄文時代晚期	秋田県埋蔵文化財センター
55	土製耳飾	横堀中屋敷遺跡（湯沢市）	縄文時代後期	秋田県埋蔵文化財センター
56	土製耳飾	横堀中屋敷遺跡（湯沢市）	縄文時代後期	秋田県埋蔵文化財センター
57	ベンガラ入り注口土器	戸平川遺跡（秋田市）	縄文時代晚期	秋田県埋蔵文化財センター
【県指定有形文化財】				
58	漆塗鉢形土器	戸平川遺跡（秋田市）	縄文時代晚期	秋田県埋蔵文化財センター
【県指定有形文化財】				
59	無題	山脇 佐久子	—	油彩、キャンバス 額装 秋田県立近代美術館 寄託品
60	うみとすなと	伊藤 博次	1964(昭和39)	油彩、キャンバス 額装
61	けし	佐々木 宗一郎	1981(昭和56)	油彩、キャンバス 額装
62	あかよろし	渋谷 重弘	1997(平成9)	ミクストメディア、 箔、キャンバス 額装
63	紙ふうせん	斎藤 寅彦	1991(平成3)	油彩、キャンバス 額装
64	炎	福田 豊四郎	1963(昭和38)	紙本着色 4曲1隻
65	石製品（岩版）	杉沢台遺跡（能代市）	縄文時代晚期	秋田県埋蔵文化財センター
66	石製品（岩版）	戸平川遺跡（秋田市）	縄文時代晚期	秋田県埋蔵文化財センター
67	土偶	ヲフキ遺跡（にかほ市）	縄文時代後期	秋田県埋蔵文化財センター
68	うずまき	高橋 功	1996(平成8)	油彩、合板、木
69	コスモス・2	高橋 功	2004(平成16)	油彩、木
70	コスモス・3	高橋 功	2004(平成16)	油彩、木
71	93-A白い人々	草薙 隆	1993(平成5)	油彩、キャンバス 額装
72	春を待つ鳥海山・スケッチ	小泉 淳作	1995(平成7)	木炭、紙 額装
73	祈り	荘司 福	1964(昭和39)	紙本着色 額装

5 考古の美・時間の美 を見る

No	作品名	作家/出土遺跡	年代	素材(美術作品のみ)	所蔵(空欄は秋田県立近代美術館蔵)
74	さきもり	山口 静恵	1980(昭和55)	紙本着色 額装	
75	縄文・祈りの地	沓澤 則雄	2023(令和5)	漆(色漆)、乾漆粉、蒔絵、板、 砥の粉、パネル	
76	縄文の証	沓澤 則雄	2011(平成23)	漆(色漆)、乾漆粉、蒔絵、板、 砥の粉、赤い糸玉(3500年前の 北秋田市漆下遺跡より出土を復 元)、パネル	
77	亀ヶ岡	宮腰 喜久治	1992(平成4)	油彩、キャンバス 額装	
78	敦煌	福田 豊四郎	1959(昭和34)	紙本着色 額装	
79	菩薩像	山口 静恵	—	紙本着色 額装	
80	うつむく女神	佐藤 文雄	1991(平成3)	油彩、キャンバス 額装	
81	時の跡2002年3月31日	斎藤 寅彦	2002(平成14)	油彩、キャンバス 額装	
82	ARCADIA(鳩を追う)	伊藤 康夫	1992(平成4)	油彩、キャンバス 額装	
83	時の痕跡 I	渋谷 重弘	1980(昭和55)	油彩、キャンバス 額装	
84	土器	坂下 II 遺跡(大館市)	縄文時代早期		秋田県埋蔵文化財センター
85	壺	富ヶ沢A窯跡(横手市)	古墳時代		秋田県埋蔵文化財センター

写真2	ST252Ⅲ層遺物出土状況② 茄黃ノ木遺跡（能代市）	縄文時代中期 (南から)	秋田県埋蔵文化財センター
写真3	LQ59 周辺列石・配石遺構 茄黃ノ木遺跡（能代市）	縄文時代中期 (北東から)	秋田県埋蔵文化財センター
写真4	SX178 出土状況(北西から) 横堀中屋敷遺跡（湯沢市）	縄文時代後期前葉	秋田県埋蔵文化財センター
写真5	SKF821プラスコ状土坑 池内遺跡（大館市）	縄文時代前期	

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『教育あきた』「SPOT」	3月号
『rakra』	3・4月号
『秋田魁新報』「地域情報」	3/1
『marimari』アート探訪	4月号
『秋田魁新報』すいよう学芸館「美を知る」305	3/19

【テレビ・ラジオ等】

エフエム秋田「秋田県からのお知らせ」	3/28
--------------------	------

【インターネット等】

ウェブ版美術手帖／美の国あきたネット ほか

◇会場風景



第1展示室



第4展示室

i 開館30周年記念 コレクション展 第1期
美術館であいましょう

会期：2024(令和6)年4月11日(木)～7月1日(月) 【82日間】

担当：鈴木 京

ギャラリートーク：4月13日(土)、6月15日(土) 各日14:00～



1. 1975—県立博物館であいましょう 博物館も名品ぞろい

No	メタ	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	収蔵年度
1	平福 穂庵	祐天上人盡夢	1889(明治22)	絹本着色 軸装	123.0×53.0	昭和49	
2	○ 沈 南蘋	鶴	【県指定有形】1738(元文3・乾隆3)	絹本着色 軸装(対幅)	各110.0×50.0	昭和48	
3	長山 孔寅	鹿猿図	江戸後期	絹本着色 軸装	127.0×54.0	昭和49	
4	高橋 萬年	田	昭和期	紙本着色 2曲1双	各168.8×170.2	昭和47	
5	倉田 松濤	山水	—	絹本着色 軸装(対幅)	各212.0×60.0	昭和46	
6	平福 百穂	富嶽図	1925(大正14)	紙本着色 淡彩 軸装	225.5×139.8	昭和48	
7	○ 横山 大觀	雲中富士	1915(大正4)頃	紙本金地着色 2曲1双	各169.0×178	昭和54	
8	勝平 得之	〈花四題〉春(ツバキ)	1938(昭和13)	木版、紙	67.2×36.9	昭和51	
9	勝平 得之	〈花四題〉夏(ハス)	1938(昭和13)	木版、紙	67.2×36.9	昭和51	
10	勝平 得之	〈花四題〉秋(菊)	1939(昭和14)	木版、紙	67.2×36.9	昭和52	
11	勝平 得之	〈花四題〉冬(なんてん)	1939(昭和14)	木版、紙	67.2×36.9	昭和52	

2. 1980—“新美術館”であいましょう 集めたい、あれやこれ

No	メタ	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	収蔵年度
12	○ 寺崎 廣業	長恨歌	1914(大正3)	絹本金地着色 6曲1双	各171.0×373.5	昭和55	
13	福田 豊四郎	山春	1930(昭和5)	絹本着色 額装(2面)	各228.8×106.8	昭和56	
14	平福 百穂	草刈女	—	絹本着色 軸装	147.0×50.5	昭和55	
15	鏑木 清方	秋の夜	1919(大正8)	絹本着色 軸装	140.3×50.7	平成3	
16	小西正太郎	緑衣の女の肖像	1925(大正14)	油彩、キャンバス	91.0×73.0	平成2	
17	館岡 栗山	竿灯	—	紙本着色 額装	193.9×130.3	昭和63	
18	○ 小田野直武	不忍池図	【重要文化財】1770年代	絹本着色 額装	98.5×132.5	昭和34	
19	○ 小田野直武	岩に牡丹図	1770年代	絹本着色 額装	48.3×72.7	平成2	

3. 1994—美術館であいましょう 素敵な作品、そろえてます

No	メタ	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	収蔵年度
20	佐々木 英	蒔絵飾箱「海麗」	1974(昭和49)	桐・玉虫貝・研出蒔絵	13.0×10.0×20.0	平成4	
21	東山 魁夷	悠紀地方屏風春夏小下図	1990(平成2)	紙本着色 額装	各21.5×38.5	平成7	
		悠紀地方屏風秋冬小下図					
22	○ 石川 大浪	ファン・ロイエン筆	1796(寛政8)	紙本着色 軸装	232.8×107.0	平成13	
	石川 孟高	花鳥図模写	【県指定有形】				
23	川端 玉章	四時群花図	1877(明治10)頃	絹本金地着色 額装	43.1×68.3	平成10	
24	平福 穂庵	乞食図	1880(明治13)	綿布墨画淡彩 軸装	166.2×84.1	平成14	
25	平福 百穂	牛	1918(大正7)	絹本裏箔着色 6曲1双	各168.5×373.8	平成13	
26	○ 柴田 春光	狭布の里	1928(昭和3)	絹本着色 2曲1隻	160.4×226.8	平成13	
27	小泉 淳作	春を待つ鳥海山	1995(平成7)	紙本着色 淡彩 額装	155.0×271.0	平成8	
28	○ 岩崎 鐸	結婚式	1951(昭和26)	紙本着色 額装	182.7×211.8	平成16	
29	寺崎 廣業	杜甫	1918(大正7)	絹本着色 軸装	210.8×100.7	平成19	

4. 『秋田美術』であいましょう 作家の言葉も読める場所

No	メタ	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	収蔵年度
30	信太 金昌	高原	1953(昭和28)	紙本着色 額装	195.5×105.5	平成14	
31	桜庭藤二郎	山湖早春	1984(昭和59)	紙本着色 額装	165.2×209.5	昭和61	
32	高橋 清見	朝顔	1984(昭和59)	紙本着色 額装	186.0×224.0	昭和59	
33	横山 津恵	臼杵曼荼羅	1978(昭和53)	紙本着色 額装	174.0×219.0	平成7	
34	馬場 彰	不確かなポートレート	1979(昭和54)	油彩、キャンバス	130.0×130.0	平成22	
35	紺野 五郎	b y e - b y e	1981(昭和56)	油彩、キャンバス	162.1×130.3	昭和61	

5. ふたたび、美術館であいましょう 寄贈作品より

No	メタ	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	収蔵年度
36	斎藤 實彦	蒼園 - II	1982(昭和57)	油彩、キャンバス	162.0×194.0	平成27	
37	佐々木良三	限定海域のものたち	1983(昭和58)	油彩、キャンバス	162.0×162.0	令和4	
38	松井 如流	知魚樂	1968(昭和43)	紙本着色 淡彩 6曲1隻	136.0×388.0	平成5	
39	玉村方久斗	玄関にて(仮題)	1931(昭和6)頃	紙本着色 額装	66.0×66.0	平成17	

40	玉村方久斗	書斎(仮題)	1931(昭和6)頃	紙本着色 頭装	65.9×65.8	平成17
41	玉村方久斗	プラットホーム(仮題)	1931(昭和6)頃	紙本着色 頭装	66.0×66.0	平成17
42	橋 小夢	海辺の春(構想図)	制作年不詳	紙本着色	31.2×34.5	平成28
43	橋 小夢	傀儡師(構想図)	制作年不詳	紙本着色	31.0×34.5	平成28
44	橋 小夢	感應丸	大正末～昭和初期	ペン・墨、紙	23.2×15.1	平成28
		柳の前	大正末～昭和初期	ペン・墨、紙	23.2×15.1	平成28
45	橋 小夢	地獄太夫(下絵)	1960(昭和35)頃	鉛筆・墨・朱、紙	67.0×42.0	平成28
46	橋 小夢	花車	1965(昭和40)頃	絹本着色 2曲1隻	107.0×107.0	平成28
47	宮下 勝行	夢寐に漂う緋の島	2000(平成12)	水彩、紙	53.8×38.5	平成22
48	宮下 勝行	題不詳	2000(平成12)	水彩、紙	30.0×41.0	平成22
49	吉村 益信	CutSea A	1973(昭和48)	シルクスクリーン、紙	29.5x38.5	平成11
50	吉村 益信	CutSea B	1973(昭和48)	シルクスクリーン、紙	29.9x41.2	平成11
51	吉仲 太造	像=男	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	50.6x36.5	平成11
52	吉仲 太造	像=女	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	50.6x36.5	平成11
53	千葉 穎介	おばこ (撮影地 横手市本郷)	1953(昭和28)頃	ゼラチン・シルバー ・プリント	18.5×27.6	平成22
54	千葉 穎介	日向(撮影地 不詳)	1955～65年頃	ゼラチン・シルバー ・プリント	20.0×30.2	平成22
55	千葉 穎介	夕陽の頃 (撮影地 平鹿郡)	1958(昭和33)	モダンプリント	25.5×30.5	平成22
56	大野源二郎	湯治場の老婆 (撮影地 仙北市乳頭温泉)	※撮影 1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー ・プリント	34.6×26.5	平成29
57	大野源二郎	授乳 (撮影地 飯田川虹川)	1954(昭和29)	ゼラチン・シルバー ・プリント	30.0×21.5	平成29
58	大野源二郎	篭小学校 (撮影地 旧山内村)	1989(平成元)	ゼラチン・シルバー ・プリント	25.4×20.3 20.3×25.4	令和元
59	沓澤 則雄	地の記憶	2018(平成30)	研出蒔絵、金箔・金粉・ 錫粉・白蝶貝・赤い糸玉	145.5×89.4	令和5
60	沓澤 則雄	「花芯の譜」漆盤	2014(平成26)	蒔絵、柄・朴、白蝶貝	H 6.0×径48.0	令和5

※「メタ」欄の○印は、当館の「メタバース×キンビ」でも紹介している作品

◇関連記事 【新聞・雑誌等】 『秋田魁新報』 すいよう学芸館「美を知る」261 4/8
 【インターネット等】 美の国あきたネット／ウォーカープラス ほか

ii 開館30周年記念 コレクション展 第2期
水辺の風景

会期：2024(令和6)年7月5日(金)～9月16日(月・祝) 【74日間】

担当：奈良 香

ギャラリートーク：7月6日(土)、9月15日(日) 各日14:00～



第1展示室

No	メタ	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	○	小松 均	春の最上川	1974(昭和49)	紙本着色 淡彩 額装	各94.0×368.0
2	○	福田豊四郎	山湖遊行巻	1929(昭和4)	紙本着色 卷子装	66.0×1090.0
3		平福 穂庵	嵐山	1870(明治3)	紙本着色 襟(6面)	各167.6×82.1
4		佐々木 英	蒔絵飾箱「萌春」	1977(昭和52)	桐・彩切貝・研切蒔絵	16.0×11.0×22.0
5	○	高橋 清見	花明り	1994(平成6)	紙本着色 額装	195.0×195.0
6		平福 百穂	梅月相思	1932(昭和7)	絹本着色 軸装(対幅)	各137.0×36.0
7		斎藤 英壱	北国に咲く	1976(昭和51)	紙本着色 額装	182.0×212.3

第2展示室

No	メタ	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
8		高橋 清見	水無月の頃	1991(平成3)	紙本着色 額装	181.8×227.3
9		福田豊四郎	夏郷	1934(昭和9)	紙本着色 2曲1隻	218.8×178.6
10		福田豊四郎	水辺の夏	1931(昭和6)	絹本着色 額装	245.0×175.5
11	○	小田野直武	富嶽図	1770年代	絹本着色 軸装	43.5×77.0
12		佐竹 曙山	松に唐鳥図【重文・寄託品】	—	絹本着色 軸装	173.0×58.0
13		川端 龍子	鶴	—	絹本着色 軸装	136.2×51.2
14		平福 百穂	能登の渦潮	1928(昭和3)	絹本墨画 額装	176.4×96.0
15	○	下村 観山	三保富士	1919(大正8)	絹本金地着色 6曲1双	各167.0×370.0
16		寺崎 廣業	夜聴歌者	—	絹本裏箔着色 6曲1双	各166.6×370.8
17	○	寺崎 廣業	(瀧湘八景)洞庭秋月 【県指定有形】	1912(大正元)	紙本着色 軸装	52.1×86.8
18	○	寺崎 廣業	(瀧湘八景)平沙落雁 【県指定有形】	1912(大正元)	紙本着色 軸装	52.1×86.8
19		佐々木 英	蒔絵彩切貝水指「秋の日」	1978(昭和53)	銅・キハダ・彩切貝紙 径15.5×20.0	
20		桜庭藤二郎	山湖	1965(昭和40)	本着色 額装	169.0×216.0
21		平福 百穂	剣峰霜秋	1924(大正13)	紙本墨画淡彩 軸装	46.3×53.3

第3展示室

No	メタ	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
22	○	桜庭藤二郎	山河	1983(昭和58)	紙本着色 額装	208.8×164.3
23		桜庭藤二郎	雪中十和田	1971(昭和46)	紙本着色 額装	167.3×211.2
24		高橋 清見	雪明り	1995(平成7)	紙本着色 額装	180.0×223.0
25		佐藤 僚平	北の海	1976(昭和51)	紙本着色 額装	151.0×180.8
26		信太 金昌	冬裡宿秋	1982(昭和57)	紙本着色 額装	161.2×227.3
27		佐々木裕久	幻視断層-R103	1985(昭和60)	紙本着色 額装	162.0×227.5
28		勝平 得之	(秋田十二景)外濠夜景	1929(昭和4)	木版、紙	22.6×29.6
29		勝平 得之	(秋田十二景)八橋街道	1929(昭和4)	木版、紙	22.6×29.6
30		勝平 得之	(秋田十二景)草生津川の秋	1930(昭和5)	木版、紙	22.6×29.6
31		勝平 得之	(秋田十二景)鐘楼余景	1930(昭和5)	木版、紙	22.6×29.6
32		勝平 得之	(秋田十二景)雪の湖月濠	1931(昭和6)	木版、紙	22.6×29.6
33		勝平 得之	(秋田十二景)新川橋	1938(昭和13)	木版、紙	22.6×29.6
34		勝平 得之	(秋田十二景)夜の秋田大橋	1938(昭和13)	木版、紙	22.6×29.6
35		勝平 得之	(秋田十二景)旭川暮色	1939(昭和14)	木版、紙	22.6×29.6
36		三村 治男	釣船	1976(昭和51)	木版、紙	20.0×44.5
37		三村 治男	秋田港から寒風山を望む	1997(平成9)	木版、紙	20.0×45.0
38		梅津 祐司	遠き流れ2	1990(平成2)	リトグラフ、紙	44.0×64.0
39		梅津 祐司	遠き流れ5	1992(平成4)	リトグラフ、紙	27.5×39.0

※「メタ」欄の○印は、当館の「メタバース×キンビ」でも紹介している作品

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『秋田魁新報』すいよう学芸館「美を知る」275

8/14

『秋田さきがけコミュニティーマガジン 郷』vol.158

夏号

【インターネット等】 美の国あきたネット／Event Bank ほか

Ⅲ 開館30周年記念 コレクション展 第3期 空色—うつりゆく景色

会期：2025(令和7)年2月5日(水)～4月13日(日) 【68日間】

担当：秋田 達也

ギャラリートーク：2月16日(日)、3月22日(土) 各日14:00～



第1展示室

No	作者	作品名	制作年	材質・技法	員数	寸法
1	佐竹 義躬	岩に牡丹図	—	紙本着色	1幅	108.2×29.1
2	小田野直武	芍薬花籠図	1770年代	絹本着色	1幅	94.5×21.0
3	寺崎 廣業	高山清秋	1914(大正3)	絹本裏箔着色	6曲1双	各168.2×364.2
4	古関 六平	蒼穹への誘い'99	—	ケミカルウッド・夜光貝・白鳥貝	1口	H45×W50×D22.5
5	寺崎 廣業	〈白馬山八題〉雪渓残月	1917(大正6)	紙本着色	1幅	57.9×89.2
6	寺崎 廣業	〈白馬山八題〉雲海曙色	1917(大正6)	紙本着色	1幅	57.9×89.2
7	寺崎 廣業	〈瀟湘八景〉漁村夕照	1912(大正1)	紙本着色	1幅	52.1×86.8
8	寺崎 廣業	〈瀟湘八景〉遠浦帰帆	1912(大正1)	紙本着色	1幅	52.1×86.8
9	高橋 萬年	刈入	—	紙本着色	4曲1隻	167.6×336.8
10	平福 百穂	清江	1931(昭和6)	紙本墨画淡彩	1幅	50.8×61.7
11	平福 百穂	春山	1933(昭和8)	紙本墨画淡彩	1幅	91.0×104.0
12	金子 義償	郊外	1991(平成3)	油彩、キャンバス	1面	193.9×97.0
13	金子 義償	インドにて	1990(平成2)	油彩、キャンバス	1面	193.9×97.0
14	高橋 萬年	秋の田園	—	絹本着色	1幅	48.0×99.0
15	高橋 萬年	銀座尾張町	—	絹本着色	1面	98.5×145.5

第2展示室

No	作者	作品名	制作年	材質・技法	員数	寸法
16	樫尾 直	向かう	1988(昭和63)	油彩、キャンバス	1面	130.3×194.0
17	三浦 明範	B R E A K F A S T	1991(平成3)	油彩・テンペラ、キャンバス	1面	193.3×162.2
18	三浦 明範	朝の祭壇	1989(平成1)	油彩・テンペラ、キャンバス	1面	162.2×130.3
19	勝平 得之	聖園	1931(昭和6)	木版、紙	1枚	29.0×38.6
20	勝平 得之	〈秋田十二景〉長堤早春	1939(昭和14)	木版、紙	1枚	22.6×29.6
21	勝平 得之	〈秋田十二景〉日吉神社隨身門	1938(昭和13)	木版、紙	1枚	22.6×29.6
22	勝平 得之	〈秋田十二景〉太平山遠望	1939(昭和14)	木版、紙	1枚	22.6×29.6
23	勝平 得之	雪国の春	1943(昭和18)	木版、紙	1枚	27.0×36.3
24	三村 治男	夕暮れ	1990(平成2)	木版、紙	1枚	23.0×56.0
25	三村 治男	残照	1989(平成1)	木版、紙	1枚	23.0×56.0
26	三村 治男	霧ヶ峰から富士山を望む	1980(昭55)	木版、紙	1枚	28.5×56.0
27	三村 治男	尾瀬沼 朝	1995(平成7)	木版、紙	1枚	26.0×56.0
28	三村 治男	尾瀬沼 夕景	1987(昭和62)	木版、紙	1枚	26.0×56.0
29	堀川達三郎	暮彩	1987(昭和62)	岩絵具、キャンバス	1面	175.1×221.2
30	堀川達三郎	杜	1963(昭和38)	紙本着色	1面	181.8×227.3
31	奈良清四郎	閉山した陸中の鉱山	1978(昭和53)	油彩、キャンバス	1面	131.5×181.5
32	福田豊四郎	暮沼	1947(昭和22)	紙本着色	1面	255.4×186.0
33	斎藤 英壱	浜	1988(昭和63)	紙本着色	1面	227.3×182.0

第3展示室

No	作者	作品名	制作年	材質・技法	員数	寸法
34	葛西 康	古都遠望(キエフ)	1974(昭和49)	油彩、キャンバス	1面	112.1×145.5
35	伊勢 正義	異邦人	1974(昭和49)	油彩、キャンバス	1面	185.0×251.0
36	伊藤 弥太	象潟の初夏	1969(昭和44)	油彩、キャンバス	1面	130.3×162.1
37	伊藤 康夫	風の風景	1972(昭和47)	油彩、キャンバス	1面	162.1×130.3
38	伊藤 博次	空と海と砂と…V	1985(昭和60)	油彩、キャンバス	1面	100.0×100.0
39	濱松 小源太	作品	1930年代後半	油彩、キャンバス	1面	80.3×60.6
40	木村 恒己	神にもなれず I	1991(平成3)	油彩、キャンバス	1面	162.1×130.3
41	佐々木 良三	痕跡 A	1980(昭和55)	油彩、キャンバス	1面	193.9×162.1
42	加藤 貞子	人形衆	1979(昭和54)	油彩、キャンバス	1面	181.8×227.3
43	斎藤 英壱	新生地	1969(昭和44)	紙本着色	1面	212.0×182.1
44	佐々木 裕久	冬の蜃気楼	1999(平成7)	紙本着色	1面	116.7×80.3

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『秋田さきがけコミュニティーマガジン 郷』vol.160

秋号

『秋田魁新報』すいよう学芸館「美を知る」299

2/5

『秋田さきがけコミュニティーマガジン 郷』vol.161

春号

『秋田魁新報』県南版

3/19

【テレビ・ラジオ】

AAB秋田朝日放送「情報ニュースショードレタテ！」

2/24

NHK秋田放送局「ニュースこまち」

2/28

教育普及事業

“ふらりと気軽に訪れ、アートをお楽しみいただける”そんな親しみやすい美術館を目指し、展覧会はもちろん美術館教室や美術館講座、ミュージアムコンサート等の教育普及事業にも力を入れている。また、郷土の作家を扱った美術番組のハイビジョン上映、県内外の美術館に関する情報や図書資料の提供等、美術の情報センターとしての役割も果たしている。

さらに、美術館を第二の学校として活用する県の事業「教育施設等のセカンドスクール的利用 ※」において、学校の授業時数にカウントできる「展覧会の鑑賞」や「様々な実技の体験活動」も受け入れている。

距離的・時間的に当館への気軽な来館が難しいと考えられる県北等の地域に対しては、能代エナジアムパークを会場とした「出前美術展」や、県立図書館を会場とした「ネットワーク事業」を実施。当館収蔵品の画像を活用した「キンビアートカード」の貸し出しも行っている。



R6年度コレクション展第1期鑑賞の様子

● キンビ・創作体験プログラム

美術館教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	日本画教室 「一静物を描こう！」	5月18日(土) ・19日(日)	中学生以上一般 15名	佐藤 悟 (日本美術院院友)	2日間	16名	保泉 奈良
II	アクリル画教室 「好きな木材に絵を描く」	9月8日(日)	中学生以上一般 10名	永沢碧衣 (絵画作家)	1日	10名	北島 木村
III	版画教室3 「ドライポイントとエッチングの混合技法で銅版画に挑戦！」	10月26日(土) ・27日(日)	中学生以上一般 各日10名	伊藤由美子 (版画家)	各1日	11名・6名 計17名	藤井 北島

みんなの教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	木の工作教室 「木でつくる からくりボックス！」	7月28日(日)	小学生以上一般 10名	木村雅洋 (当館学芸主事)	1日	12名 + 引率10名	木村 藤井
II	羽子板に描こう！	12月1日(日)	小学生以上一般 8名	藤井正輝 (当館学芸主事)	半日	7名 +引率2名	藤井 奈良

きつずあーと

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	おさかなすいぞくかん	8月3日(土)	未就学児 10名	北島珠水 (当館学芸主事)	半日	5名 +引率5名 10名	北島 奈良
II	スタンプぺったんアート 「みんなでつくる キンビ動物園」	9月1日(日)	未就学児 10名	奈良香 (当館学芸主事)	半日	4名 +引率4名 8名	奈良 木村

美術館教室

I 日本画教室 5/18・19

日本美術院院友の日本画家・佐藤悟氏を講師に迎えて日本画教室を開催した。今回は参加者に好きな静物を持参してもらった。1日目、まずは和紙を揉んでシワを作る“揉み紙”作り。その後持参した静物をスケッチし、揉み紙を貼ったパネルに転写、墨で線描きをして終了。2日目は各自が工夫を凝らして岩絵の具を塗り重ね、作品を完成させた。使い慣れない絵の具に苦戦する参加者も見られたが、講師の丁寧な指導により全員が納得いく作品に仕上げられたようである。途中、制作以外に岩を碎いて岩絵の具を作るなど、日本画について参加者が興味を持つことができた2日間となった。



II アクリル画教室 9/8

絵画作家の永沢碧衣氏を講師に迎え、アクリル画教室を開催した。今回は「木に描く」をテーマに、木材を支持体にアクリル画の制作に取り組んだ。講師の永沢先生から、アクリル絵の具は木材に描画することで絵の具が木の質感を一体化し、自然な風合いを生み出すことができる、との説明を受け、たくさんの木材の中から木目や木の節なども考慮しながら、じっくりと木材選びを行った。全員が木材に描くということは初めてということであったが、絵の具の重ね方、絵筆の動かし方などを永沢先生から説明を受けたり、先生の描く様子を間近で見たりしながら、また、描き方を直接アドバイスもらったりしながら作品を完成させた。アクリル画の新たな魅力を味わう時間となった。



III 版画教室3 10/26・27

3年目となる版画教室を、前々回～前回に引き続き、版画家の伊藤由美子氏を講師に迎え開催した。今回は「ドライポイントとエッティングの混合技法で銅版画に挑戦！」と題し、これまで取り上げた技法を合わせる盛りだくさんの内容となった。多くの工程を5時間で行うため、ハードなスケジュールを想定していたが、伊藤先生の実演をまじえた的確なご説明とお声掛けのおかげで、受講生全員が余裕をもって作品を完成させていた。参加者は各々3点ほど摺り上げ、インクの拭き取り具合などのわずかな違いで生まれる印象の変化にも興味津々。最後は全員の版を一枚の紙に摺って終了した。大変中身の濃い教室で、一般の方からの要望も多い「版画」である。ぜひまた開催できればと思う。



みんなの教室

I 木の工作教室 7/28

夏休み恒例の木の工作教室で、今年度からは木を加工してからくりボックスを作るという内容にリニューアルして実施した。「からくり」という単語の魅力か、開始早々に申込が相次ぎ定員の2倍の希望者があった。以前特別展のイベントとして開催した、ボール紙を使ってのからくりボックスづくりを木にアレンジした内容なのだが、紙では課題となっていた強度やパーツの噛み合わせも克服でき、安定感と存在感も増したので参加者にとっても満足のゆく仕上



がりとなった。箱の4面や軸芯、カムなどの規格が一定の部品を事前に加工し準備しておき、回す形やハンドルといったオリジナルの部分を作る作業に集中できるようにしたため、時間内に余裕を持ってからくりボックスを完成させることができた。木を使った造形の機会が少ないとめか、参加者が親子共々制作を楽しんでもらえたようで良かった。ハンドルを回して表と裏の形が交互に入れ替わったり、左右に振られることで生き物のような動きをしたりするなど、出来上がった作品を動かす楽しさが大きな魅力になっていたと思う。これまでの実施内容から準備については想定通りだったので、次回は回すパーツを単純化するアイディアや制作の段取りについてもっと精査してみたい。



II 羽子板に描こう！ 12/1

羽子板の絵付けという題材は、今年で3年目の開催となった。今回も材料となる板は職員が裁断し、ヤスリをかけて仕上げた。羽子板で遊ぶことも、それを目にすることも減りつつある昨今、気軽に参加できて日本の伝統にもふれられる機会を提供したいと考え本教室を開催した。日没が早く、初雪の降り始める時期でもあることから午前中2時間集中型の内容とし、スムーズに作業に取りかかれるよう、原寸大下書き用紙を事前に送付し対応した。
また今回も何組かの親子にご参加いただき、協力しながら制作を進める様子が見られ、アットホームな雰囲気の教室となった。



きつずあーと

I おさかなすいぞくかん 8/3

ペットボトルを水族館に見立て、様々な素材や道具を使って海の生き物をつくる造形活動を行った。油性ペンを使い海の生き物を自由に描いたり、塗ったり、セロファンやアルミホイル、ビーズ、ラメ、シールなど様々な素材を組み合わせたりしながら、思い思いに造形活動に取り組んだ。様々な素材を準備することでハサミを使ったり、手でちぎったり丸めたりと参加者の実態に応じた活動が可能となり、全員が時間いっぱい集中して取り組むことができた。作った海の生き物をペットボトルの中に入れ、水道の蛇口から水を注ぐと、ゆっくりと泳ぎ出す様子に歓声があがった。ペットボトル2本分の水族館を作り、1本を食紅で色付けし、色の変化も楽しんだ。様々な素材の感触、色、形などを楽しむ時間となった。



II スタンプぺったんアート 9/1

未就学児を対象として、動物のスタンプをつくる造形遊びの活動を行った。初めに、大小様々なスチレンボードに割り箸で好きな動物を描きスタンプを作成する。その後カラーインクをつけて画用紙に押印すると様々な動物作品ができあがる。最後に全員の作品を持ち寄って“キンビ動物園”をつくるという内容である。

今年度は、準備の段階から博物館実習生に研修の一環として参画してもらった。当日は、親子で共同作業をしながら、他の参加者や実習生（大学生）とも触れ合い、和やかな雰囲気の中で「つくる楽しさ」を感じてもらう機会となった。



● ミュージアムコンサート

I. 「平 丈恵 マンドリンコンサート」

日 時 2024年8月18日(日)

1回目… 11時00分～ 11時40分

2回目… 13時30分～ 14時10分

会 場 秋田県立近代美術館5階中央ホール

出 演 平 丈恵、 *の3曲は神原順一氏によるギター伴奏付き

観覧者数 92人

担 当 藤井、木村



プログラム

- | | | |
|----|----------------|------------------|
| ① | 岡野貞一作曲／藤本幸男編曲 | ふるさとファンタジー |
| ② | 田中常彦作曲 | ゆりかご |
| ③ | 田中常彦作曲 | ロマンツア |
| ④* | 成田為三作曲／西垣正信編曲 | 浜辺の歌 |
| ⑤* | 萩原朔太郎作曲／吉田剛士編曲 | 機織る乙女 |
| ⑥* | 山田耕筰作曲／小穴雄一編曲 | Akatombow (赤とんぼ) |
| ⑦ | 安藤睦夫作曲／川口雅行編曲 | 北上夜曲変奏曲 |
| ⑧ | 日本古謡／繩田政次作曲 | 幻想曲 桜 |

● 美術館講座・美術講演

美術の鑑賞と理解を深めるため、当館特任館長が美術講座を8回実施した。

詳細は次のとおりである。

◇ 美術館講座「特任館長講座」

《江戸時代の美術と文化III 一宗達・光琳・抱一ー》

俵屋宗達・尾形光琳・酒井抱一は、平安時代以来の日本独特の大和絵の画法を江戸時代に再生・発展させた画派として、今日一般に琳派と呼ばれている。3人には直接的な師弟関係はないが、時を隔てていわゆる私淑という形で画系を繋げていった。講座では、江戸時代初期・中期・後期の社会・文化を背景に変化していった、3人それぞれの琳派画風について紹介した。

講師：仲町啓子(秋田県立近代美術特任館長・実践女子大学文学部名誉教授)

会場：秋田県立近代美術館6階研修室

全8回、延べ受講者数204名

秋田県立近代美術館 2024(令和6)年度
美術館講座のご案内
[講師] 仲町啓子(みのまち けいこ)
『江戸時代の美術と文化III 宗達・光琳・抱一』
【日 時】 第1回：8月11日(土) 14時00分～15時30分
【場 所】 秋田県立近代美術館6階研修室
【回 数】 半期回8回分(一年定期)
【主 催】 研修課
【料 金】 不要(会員料金にて併用)

■ [第1回] 8月11日(土) 江戸時代初期～中期の京都・江戸大和絵の発展
■ [第 2回] 8月18日(土) 俵屋の宗達から法橋宗達へ(水墨画・扇面画ほか)
■ [第 3回] 8月25日(土) 宗達の後半生と屏風絵の制作—《風神雷神図屏風》ほか
■ [第 4回] 9月 1日(土) 光琳の前半生とその制作—《燕子花図屏風》を中心に
■ [第 5回] 9月 8日(土) 光琳の後半生とその制作—《紅白梅図屏風》を中心に
■ [第 6回] 9月 15日(土) 抱一前半生とその制作—浮世絵・狂歌から光琳百回忌供養
■ [第 7回] 9月 22日(土) 抱一後半生とその制作—江戸の文化人と交流と屏風絵制作
■ [第 8回] 9月 29日(土) 第8回定期講座(1回のみ受講料のみ支払)※定期講座

TEL 0182-33-8855 FAX 0182-33-8856
E-mail akikenmu@oac.ac.jp
郵便番号 018-0001 〒018-0001 秋田県秋田市中央1丁目1番地
秋田県立近代美術館
ART MUSEUM OF MODERN ART

- | | |
|--------------|----------------------------|
| ① 5月 11日(土) | 宗達の金銀泥絵一本阿弥光悦と江戸時代初期の京都 |
| ② 6月 8日(土) | 俵屋の宗達から法橋宗達へ(水墨画・扇面画ほか) |
| ③ 7月 13日(土) | 宗達の後半生と屏風絵の制作—《風神雷神図屏風》ほか |
| ④ 8月 24日(土) | 光琳の前半生とその制作—《燕子花図屏風》を中心に |
| ⑤ 9月 21日(土) | 光琳の後半生とその制作—《紅白梅図屏風》を中心に |
| ⑥ 10月 26日(土) | 光琳と弟・乾山との合作、そして乾山の陶器・絵画制作 |
| ⑦ 11月 16日(土) | 抱一前半生とその制作—浮世絵・狂歌から光琳百回忌供養 |
| ⑧ 12月 7日(土) | 抱一後半生とその制作—江戸の文化人と交流と屏風絵制作 |

● 出前美術展 in 能代エナジアムパーク 「みて さわって たのしむ！ キンビアート☆」

会期：2024(令和6)年9月11日(水)～9月26日(木)【16日間】

※休館日：9月17日(火)、9月24日(火)

主催：東北電力株式会社能代火力発電所、秋田県立近代美術館
会場：能代エナジアムパーク カルチャーホール

担当：藤井正輝、北島珠水

入場者数：1,765名

当館から遠方にある地域の方々にも、本県収蔵品を気軽に楽しむいただきたいと願ってスタートした本展は今年で12回目を迎えた。今回は作品にやさしくさわりながら鑑賞をお楽しみいただきたいと考え、当館が所蔵する「彫刻」と「木のおもちゃ」を展示した。石やブロンズの質感、作家たちの指使い跡、木のもつ柔らかさや温もりなど、体全体でアートを楽しむ構成とした。また令和5年度に開催した「みんなのキンビ」展出作品（秋田県立栗田支援学校・秋田公立美術大学附属高等学院の協働制作）もあわせて展示し、近代美術館を中心に展開する「ふるさと秋田」と「地域や人とのつながり」も紹介した。



No	作品名	作家名	技法・形状	寸法(cm)
1	天空伝説「来訪者」	野口 裕史	銅・ステンレス	H80 × W200 × D130
2	天空伝説「風韻」	野口 裕史	銅	H60 × W160 × D76
3	こんにゃく石－浮遊する虚体'93-II	遠藤洪平六	白大理石・ステンレス	H83 × W46 × D24
4	摩止訶俱天狗	堀内 正和	ブロンズ	H45 × W52 × D20
5	座る女	工藤 健	ブロンズ	H73 × W31 × D43
6	木のおもちゃ「木の人形」	杉山 明博		H139 × W75 × D60
7	木のおもちゃ「組み立て ゆらゆら」	杉山 明博		—
8	木のおもちゃ「積み木 アーチ型」	杉山 明博		—
9	R5年度みんなのキンビ出展作3点	県立栗田支援学校・秋田公立美術大学附属高等学院		

◇会場風景



会場全体風景



彫刻作品コーナー



木のおもちゃコーナー



R5年度みんなのキンビ出展作

● 「みんなのキンビ」プロジェクト出前美術展 in かがやきの丘 「みる・きく・さわる みんなで楽しむキンビアート」

会期：2024(令和6)年12月9日(月)～12月13日(金)
 催：「みんなのキンビ」プロジェクト（事務局：秋田県立近代美術館）
 場所：あきた総合支援エリア かがやきの丘
 (秋田市南が丘1丁目1-1)
 担当：北島珠水、保泉充

本展は、障害などの理由でなかなかアートにふれる機会の少ない児童生徒のみなさんにアートを楽しんでいただくことを目的に、あきた総合支援エリア かがやきの丘（視覚支援学校、聴覚支援学校、秋田きらり支援学校）を会場に開催した。本展では、当館所蔵の立体作品7点と、「秋田蘭画」の代表作《不忍池図》のレプリカ、《不忍池図》には、触って鑑賞できる「さわってみる絵」を添えて展示し、視覚だけに依らない鑑賞を体験していただいた。会期中にはおしゃべりしながら作品を鑑賞する「おしゃべり鑑賞会」や地域の方を交えた粘土によるワークショップも実施し、アートを介した交流活動も行った。手でふれることで、また、多様な方とおしゃべりしたり創作したりするなど多様な楽しみ方をすることで、当館所蔵作品「キンビアート」の魅力をより深く味わっていただいた。



No	作品名	作家名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	天空伝説「風韻」	野口 裕史	2004(平16)	銅	H60.0×W160.0×D76.0
2	こんにゃく石 －浮遊する虚体'93-II	遠藤洪平六	1993(平5)	白大理石・ステン レス	H83×W46×D24 H60.0×W85.0×D50.0
3	摩止訶俱天狗	堀内 正和	1968(昭43)	ブロンズ	H45.0×W52.0×D20.0
4	座る女	工藤 健	1988(昭63)	ブロンズ	H73×W31×D43
5	よく獲たり	朝倉 文夫	1946(昭21)	ブロンズ	H51.6×W64.0×D29.0
6	旅・ひとり	峯田 義郎	1937(平5)	ブロンズ	H72.0×W118.0×D26.0
7	旅の記憶	山本 正道	1941(昭16)	ブロンズ	H20.0×W126.0×D44.0
8	不忍池図（レプリカ）	小田野直武	1770年代	絹本着色 額装	98.5×132.5

◇会場風景



彫刻作品を手で触れて楽しむ



地域の方を交えた粘土制作ワークショップ

● ネットワーク推進事業

「物語のある絵画～近代美術館のコレクションから～」

会期：2024(令和6)年11月15日(金)～12月24日(火)【35日間】

会期中の休館日：毎週水曜日

主催：秋田県立近代美術館、秋田県立図書館

会場：秋田県立図書館 2F特別展示室

概要：近代美術館のコレクションから、物語を題材に描かれた絵画作品を
展示するとともに、県立図書館の蔵書から関連資料を紹介した。

担当：奈良香、藤井正輝

入場者数：5,666人



作品リスト

No	作品名	作家名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	武尊誅梶帥図	平福 百穂	1893(明治26)	紙本着色 軸装	81.0×133.0
2	日本武尊・白鳥陵・相模の海	平福 百穂	1918(大正7)	紙本墨画淡彩 軸装	各156.0×47.0
3	祐天上人靈夢	平福 穂庵	1889(明治22)	絹本着色 軸装	123.0×53.0
4	お七吉三	山村 耕花	1910年代(大正初期)	絹本着色 軸装	各126.0×42.0
5	雀の御宿	小杉 放菴	—	紙本墨画淡彩 軸装	39.0×43.0
6	知音	加藤 雪窓	1897(明治30)	絹本着色 軸装	145.0×71.0
7	秋聲賦意	辻 九臘	1898(明治31)	絹本着色 軸装	98.0×42.0
8	絵本『夕鶴』原画(14点)	福田豊四郎	1951(昭和26)	水彩、紙 額装	各30.8×42.6
9	草汁翁作海坊主	小川 芋銭	—	紙本墨画 軸装	径60.6
10	橡ノ木の話版画集(5点)	勝平 得之	1942(昭和17)	木版、紙 額装	各15.0×21.1
11	感應丸	橋 小夢	大正末～昭和初期	ペン・墨、紙	23.2×15.1
12	柳の前	橋 小夢	大正末～昭和初期	ペン・墨、紙	23.2×15.1

No	書名	著者名	出版年	出版社	備考
資料	小杉放菴	出光美術館／編		出光美術館	
資料	新釈漢文大系 22(列子) …湯問第5第12章		1967(昭和42)	明治書院	「知音」の原作
資料	中国古典文学大系 23 (漢・魏・六朝・唐・宋散文選) …歐陽脩「秋聲賦」		1970(昭和45)	平凡社	「秋聲賦」の原作
資料	生誕百年 福田豊四郎展	福田豊四郎／画	2004(平成16)	秋田県立近代美術館	
資料	河童百図	小川芋銭／画	2007(平成19)	茨城県立歴史館	
資料	橡ノ木の話	富木友治／著 勝平得之／画	1981(昭和56)	翠楊社	
資料	橋小夢画集 日本の妖美	中村圭子／編	2015(平成27)	河出書房新社	

● ふれんどりーギャラリー

「佐藤悟 日本画展」

美術館教室「日本画教室」の講師・佐藤悟氏の作品を展示。

会期：2024(令和6)年5月10日(金)～6月9日(日) 【31日間】

担当：保泉充、奈良香

No	タイトル	サイズ	備考
1	さくらんぼ	はがき	
2	月出	S M	
3	桜映る	F 3	
4	終演	F 4	
5	木漏れ日の線路	F 4	
6	いちょう落葉道	F 4	
7	凍湖	F 4	
8	新雪	F 8	
9	新緑の祖谷峡	F 2 0	
10	みなど	S 4 0	1989年県展
11	落ち葉水鏡	S 4 0	2020年春の院展
12	月と星と雲	はがき	



「伊藤由美子 版画展」

美術館教室「版画教室3」の講師・伊藤由美子氏の作品を展示。

会期：2024(令和6)年10月12日(土)～11月17日(日) 【37日間】

担当：藤井正輝、北島珠水

No	タイトル	サイズ (mm)	技法	制作年
1	水と光と	600×600	水性木版	2017
2	きこえる	600×450	水性木版	2020
3	face 10	110×110	水性木版	2024
4	face 11	110×110	水性木版	2024
5	face 12	110×110	水性木版	2024
6	profile	300×300	水性木版	2024
7	手	300×300	水性木版	2024
8	日ごと 1	225×180	水性木版	2024
9	日ごと 2	225×180	水性木版	2024
10	日ごと 3	225×180	水性木版	2024
11	風景 4	110×110	水性木版	2024
12	風景 6	110×110	水性木版	2024



「秋田県立稻川支援学校小学部4・5・6年 ぼくらの小さなミュージアム」

稻川支援学校小学部4・5・6年生計11名の授業作品を展示。

会 期：2024(令和6)年11月21日(木)～12月17日(火) 【27日間】

担 当：藤井正輝、奈良香

No	タイトル	サイズ	技法
1	きれいな音	A4判	写真(デジカメ・レーザープリンタ)、光沢紙
2	夢中	A4判	写真(デジカメ・レーザープリンタ)、光沢紙
3	ビリビリ	A4判	写真(デジカメ・レーザープリンタ)、光沢紙
4	太陽サンサン	A4判	写真(デジカメ・レーザープリンタ)、光沢紙
5	好きな場所	A4判	写真(デジカメ・レーザープリンタ)、光沢紙
6	鼻フラフラ耳ハタハタ	A4判	写真(デジカメ・レーザープリンタ)、光沢紙
7	小豆	A4判	写真(デジカメ・レーザープリンタ)、光沢紙
8	木陰から見た僕の学校	A4判	写真(デジカメ・レーザープリンタ)、光沢紙
9	ぼくのすきなもの	八切	水彩・ペン・シャボン玉、画用紙
10	ぶくぶくおばけ	八切	水彩・ペン・シャボン玉、画用紙
11	ゴリラとあそぼう	八切	水彩・クレヨン・シャボン玉、画用紙
12	秋	A4判	写真(デジカメ・レーザープリンタ)、光沢紙
13	大好きな校長先生	A4判	写真(デジカメ・レーザープリンタ)、光沢紙
14	ポーン！	A4判	写真(デジカメ・レーザープリンタ)、光沢紙
15	大好きな給食車	A4判	写真(デジカメ・レーザープリンタ)、光沢紙
16	秋の気配	A4判	写真(デジカメ・レーザープリンタ)、光沢紙
17	れんがとでんしゃ	15×10×7cm	素焼き(つち粘土)・カラーワイヤー
18	再生	15×10×7cm	素焼き(つち粘土)・カラーワイヤー
19	プールであそんだよ	15×10×5cm	素焼き(つち粘土)・カラーワイヤー
20	ピザ	10×10×2cm	素焼き(つち粘土)
21	ポテトと電車	17×10×6cm	素焼き(つち粘土)
22	ピザ	12×12×4cm	素焼き(つち粘土)
23	つめあと	11×11×4cm	素焼き(つち粘土)
24	ぎゅー	15×10×7cm	素焼き(つち粘土)



● 美術館のセカンドスクール的利用

◇ 令和6年度セカンドスクール的利用概況

	セカンドスクール的利用（教育課程内）										総利用校数	総利用人数		
	幼・保園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他			
	園数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	団体数	(人数)		
4月														
5月				4	617							4	617	
6月	1	16	7	237	1	9			1	14		10	276	
7月			1	45	2	9	3	84	1	10		7	148	
8月			2	67	3	8						5	75	
9月				1	32							1	32	
10月	2	50	6	192	2	45			1	15		11	302	
11月	2	37	25	844	1	46			2	47	2	52	32	1026
12月	7	163	17	635					10	173	1	30	35	1001
1月														
2月			2	36					1	40		3	76	
3月														
小計	12園	266人	60校	2,056人	14校	766人	3校	84人	16校	299人	3団体	82人		
合計				108校	3,553人								108校・団体	3,553人

※参考	令和5年度	67校・団体	2,349人	令和3年度	86校・団体	2,673人
	令和4年度	37校・団体	828人	令和2年度	52校・団体	1,726人

利用学校一覧（各郡市）	
●南秋田郡 八郎潟中学校	南外小学校 高梨小学校 横堀小学校 太田東小学校 太田南小学校 大曲中学校 南外中学校 県立大曲支援学校
●秋田市 県立栗田支援学校	●大仙市・美郷町 フレッシュ広場
●由利本荘市 大内小学校 大内中学校 県立ゆり支援学校	●仙北市 白岩小学校 神代小学校 西明寺小学校 県立大曲支援学校せんぼく校
●大仙市 東大曲小学校 花館小学校 大川西根小学校 四ツ屋小学校 角間川小学校 神岡小学校 西仙北小学校 清水小学校	●仙北郡 千畠小学校
●市町村教育委員会	横手市冬休み子ども教室（増田子ども教室） 横手市冬休み子ども教室（境町子ども教室） 横手市冬休み子ども教室（横手南子ども教室） 横手市冬休み子ども教室（雄物川子ども教室） 横手市冬休み子ども教室（朝倉子ども教室） 横手市冬休み子ども教室（金沢子ども教室） 横手市冬休み子ども教室（旭子ども教室）
●大学・短大等	聖園学園短期大学

●市町村教育委員会	横手市冬休み子ども教室（増田子ども教室） 横手市冬休み子ども教室（境町子ども教室） 横手市冬休み子ども教室（横手南子ども教室） 横手市冬休み子ども教室（雄物川子ども教室） 横手市冬休み子ども教室（朝倉子ども教室） 横手市冬休み子ども教室（金沢子ども教室） 横手市冬休み子ども教室（旭子ども教室）
●大学・短大等	聖園学園短期大学

◇ 利用の位置付け（教科等）

- ・図画工作科、美術科、生活科、社会科、芸術等の各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

◇ 内容

- ・およそ2,800点を超える当館の収蔵品は、ふるさと秋田の美術文化のみならず、秋田の自然・風土のよさや美しさを実感できる内容となっている。そこで、学校において、学習のねらいに応じて楽しく美術体験ができるよう、「鑑賞」「実技」「調べ学習」等、発達段階に対応した色々なプログラムを用意している。

◇ キンビ・アートカード 貸出数

- ・当館収蔵作品の中から50点の名品を選んでカードにした「キンビ・アートカード」は、美術館を利用する際の事前学習や、国語、図画工作、特別活動といった教科や領域の副教材として活用できるものである。
- ・令和6年度の貸出はなかった。

● 博物館実習

改正博物館法に基づき、学芸員の資格取得を目指す学生を受け入れる博物館実習を行った。

【実習生の所属大学と人数】東北芸術工科大学1名、長岡造形大学1名、都留文科大学1名、富山大学1名、秋田公立美術大学1名、多摩美術大学2名

2024(令和6)年度博物館実習計画

月日	時 間	実 習 内 容	場 所
8月30日	10:00～10:25	オリエンテーション（実習のねらい、日程、留意事項等）	図書室
	10:30～10:55	秋田県立近代美術館の概要（沿革、氏名、運営方針等）	図書室
	11:00～12:00	秋田ふるさと村内の見学	ふるさと村内
	12:00～13:00	昼休み	
	13:00～14:00	美術館施設・設備の見学	館内
	14:10～15:00	展示事業について	図書室
	15:10～16:00	教育普及事業について	図書室
	16:00～17:00	実習記録まとめ	図書室
9月31日	10:00～10:25	きつずあーと「スタンプぺったんアート」について	図書室
	10:30～12:00	会場設営・用具類準備	実習室
	12:00～13:00	昼休み	
	13:00～13:50	美術館ボランティアについて	図書室
	14:00～14:50	特別展ギャラリートーク見学	展示室
	15:00～16:00	受付・監視業務補助	館内
	16:00～17:00	実習記録まとめ	図書室
9月2日	10:00～12:00	きつずあーと「スタンプぺったんアート」補助	実習室
	12:00～13:00	昼休み	
	13:00～14:30	キンビコミュニケータ講座「アートコミュニケーションについて知ろう」聴講	研修室
	14:40～15:10	きつずあーと「スタンプぺったんアート」撤収	実習室
	15:20～16:00	作品解説・ギャラリートーク準備①（作家・作品調査）	図書室
	16:00～17:00	実習記録まとめ	図書室
9月2日	10:00～10:30	作品の収集・保存・管理について	図書室
	10:40～12:00	作品・資料の取扱いについて	収蔵庫
	12:00～13:00	昼休み	
	13:00～14:00	「メタバース×キンビ」について	調査研究室
	14:10～16:00	作品解説・ギャラリートーク準備②（作家・作品調査）	図書室
	16:00～17:00	実習記録まとめ	図書室
9月3日	10:00～10:50	「みんなのキンビ」プロジェクトについて	図書室
	11:00～12:00	県庁出前講座について（キンビ・アートカード）	図書室
	12:00～13:00	昼休み	
	13:00～14:00	広報について	図書室
	14:10～16:00	作品解説・ギャラリートーク準備③（作家・作品調査）	図書室
	16:00～17:00	実習記録まとめ	図書室
9月4日	10:00～10:50	作品解説まとめ	図書室
	11:00～12:00	ギャラリートーク実演	展示室
	12:00～13:00	昼休み	
	13:00～14:50	施設・設備の問題点の洗い出し	図書室
	15:00～16:00	これからの美術館について	
	15:00～17:00	アンケート記入・実習記録のまとめ	図書室

●中学生職場体験、高校生インターンシップ、中堅教諭等資質向上研修の受け入れ

◇ 中学生職場体験

1 目的

- (1) 職場体験を通して、仕事や職種に関する認識の幅を広げる機会とする。
- (2) 望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につける一助とする。
- (3) どのような職業においても、学ぶことやコミュニケーションが重要であることを実感し、今の中学校生活を大切にしようとする姿勢を身につける機会とする。

2 主な体験内容

受付・監視業務補助、作品解説体験、彫刻清掃

3 期日と実習生

- (1) 令和6年7月29日（火）1日間
湯沢市立湯沢南中学校 2年生（2名）
- (2) 令和6年8月6日（火）1日間
横手市立横手明峰中学校 2年生（3名）
横手市立横手南中学校 2年生（2名）
横手市立横手北中学校 2年生（3名）

◇ 高校生インターンシップ

1 目的

- (1) 美術館の業務体験を通して職業への関心を高めるとともに、自己の適性の把握と進路意識の高揚を高める機会とする。
- (2) 将来の生き方に関わる職業観・勤労観を形成する一助とする。

2 主な実習内容

教育普及事業準備・活動、広報業務、受付・監視業務、講義受講等

3 期日と実習生

- (1) 令和6年7月27日（土）1日間
秋田県立増田高等学校 2年生（1名）
秋田県立西目高等学校 2年生（3名）
- (2) 令和6年7月29日（土）1日間
秋田県立横手清陵学院高等学校 2年生（1名）
- (3) 令和6年9月4日（水）1日間
秋田県立西目高等学校 2年生（3名）

◇ 中堅教諭等資質向上研修

1 目的

異なる職種の体験を通じて教員としての視野を広げ、教職員としての心構えを再認識するとともに、個人の適性に応じて得意分野を伸ばすなど自らを向上させる機会とする。

2 主な研修内容

教育普及事業準備・活動、広報業務、受付・監視業務、講義受講、協議等

3 期日と研修生

- 7月31日（水）、8月1日（木） 2日間 4名
秋田県立横手高等学校 （1名）
秋田県立平成高等学校 （1名）
秋田大学教育文化学部附属特別支援学校 （1名）
秋田県立増田高等学校 （1名）

● 美術館ボランティア AMC (アムック: Akita Museum Cooperator)

秋田県立近代美術館におけるボランティア活動は、生涯学習振興の考えに基づいて導入された。美術館でのボランティア活動を通して、会員が美術に対する愛好心と知識を深めるとともに、県民と美術館の架け橋として主体的に活動することを目指している。

活動は、1ヶ月に1日(又は半日を2回)程度の活動日を各個人が定め、1年間継続することを原則としている。活動内容は、展示室活動、案内活動、事務補助活動、配布活動、野外彫刻清掃活動、イベント活動、自己研修などの他、会員への毎月の会報作成や、交流会、他美術館等における研修なども行っている。新会員については、事前に館職員とAMC役員によるオリエンテーションを行うなどして活動をポートしている。



1 会員数 52名 (2025年3月31日現在)

2 活動内容

① 展示室活動・案内活動

- i 館内案内、誘導 (館内各施設、順路ほか)・身体障害者、高齢者、子供対応・団体の整理、誘導
- ii 美術館での鑑賞マナーの普及活動
- iii 資料配付 (リーフレット、作品解説チラシほか)
- iv 質問対応 (展示資料、美術館の概要、観光、道路、交通機関など)

② 事務補助活動

- i 印刷物発送準備作業 (ポスター、チラシ、美術館ニュースほか)

③ 自己研修

- i ハイビジョン鑑賞 (番組、データベース)
- ii 館蔵作品の調査研究等 (図書資料室)
- iii 鑑賞学習会 (ギャラリートーク、ワークショップ等への参加)

④ その他の活動

- i ふるさと村内でのPR活動 (展覧会・付帯事業)
- ii ミュージアムコンサート等の手伝い
- iii 講演会準備の手伝い
- iv 野外彫刻の清掃
- v 印刷物 (AMC通信など) の作成・発行

◆ 主な活動実績

- ① 役員会 (12回)
- ② 野外彫刻清掃 (5/16、6/20、7/18、10/17 ※9/15は雨天中止)
- ③ 交流会
(8月4日／「メタバース×キンビを体験しよう」)
- ④ 研修旅行
(10月13日／秋田市：千秋美術館・県立美術館 参加者：15名)
- ⑤ 講演会・美術館講座・コンサートへの参加
- ⑥ 新会員オリエンテーション (随時)
- ⑦ 総会 (2024年3月9日)



野外彫刻清掃

収集事業

収集方針

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品や資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の作品や資料

● 美術品収集

美術品等収集状況(令和6年度末まで)

種別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄贈	他施設から所管換	合計
秋田蘭画	6	0	1	5	12
東洋画	0	0	1	1	2
日本画	224	31	262	184	701
洋画	51	147	250	79	527
版画	11	60	298	67	436
水彩画	0	1	26	0	27
彫刻	121	12	78	6	217
工芸	29	0	17	1	47
デザイン	0	0	16	6	22
書	13	7	244	2	266
写真	3	0	230	0	233
素描・下絵等	20	0	216	11	247
国内その他資料	5	0	138	5	149
外国版画	0	0	0	2	2
外国彫刻	7	0	2	1	10
外国映像資料等	1	0	2	0	3
合計	491	258	1,781	370	2,900

2024(令和6)年度収集

種別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄贈	他施設から所管換	合計
日本画			3		3
洋画			32		32
版画			12		12
水彩画			15		15
書			12		2
合計			64		64

購入による収集

2024（令和6）年度はなし

寄贈による収集

No	種別	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	書	大野石齋	迎(仮題)	1984(昭和59)	墨、和紙額	90×90
2	日本画	信太金昌	風景(仮)	—	紙本着色額装	63×80
3	日本画	福田豊四郎	鯉(仮題)	—	紙本着色額装	40×50
4	日本画	井川惠義	木立ち	1960(昭和45)	紙本着色額装	約213×133
5	洋画	三浦明範	再生－白い月	1993(平成5)	油彩・テンペラ、合板に綿布、白墨地額	80.3×120.3

6 洋画	三浦 明範	鳥	2000(平成12)	シルバーポイント・黒鉛・墨、パネルに綿布、カオリン地 額	162.0×227.3
7 洋画	三浦 明範	シュレーディンガーの箱	2007(平成19)	シルバーポイント・黒鉛・墨、パネルに綿布、カオリン地 額	162.0×130.3
8 洋画	三浦 明範	COGITO	2009(平成21)	油彩・テンペラ、パネルに綿布、カオリン地 額	162.0×227.3
9 洋画	三浦 明範	VERITAS	2012(平成24)	シルバーポイント・黒鉛・墨、パネルに綿布、カオリン地 額	227.3×162.0
10 洋画	三浦 明範	Sleeper	2018(平成30)	シルバーポイント・黒鉛・墨・アルキド樹脂、パネルに綿布、 カオリン地 額	162.0×227.3
11 洋画	三浦 明範	REBIRTH	2022(令和4)	シルバーポイント・黒鉛・墨、パネルに綿布、カオリン地 額	227.3×162.0
12 洋画	三浦 明範	Inheritance from Grandma—受け継ぐ	2023(令和5)	シルバーポイント・黒鉛・墨・アルキド樹脂、パネルに綿布、 白墨地 額	227.3×162.0
13 洋画	三浦 明範	薔薇と標本	2013(平成25)	シルバーポイント・黒鉛・墨、パネルに和紙、カオリン地 額	45.5×37.9
14 洋画	三浦 明範	HIMONOS	2015(平成27)	シルバーポイント・黒鉛・墨、パネルに和紙、カオリン地 額	22.7×15.8
15 洋画	三浦 明範	Harvest	2019(令和元)	シルバーポイント・黒鉛・墨、パネルに和紙、カオリン地 額	24.2×33.4
16 書	赤星 藍城	七言絶句	—	墨、和紙 軸装	131.6×33.4
17 水彩画	内田 慎蔵	緑葉の能面	1992(平成4)	水彩、紙	39.0×25.8
18 水彩画	内田 慎蔵	なまはげ	—	水彩、紙	38.0×27.1
19 水彩画	内田 慎蔵	無題	—	水彩、紙	36.2×26.6
20 水彩画	内田 慎蔵	桐の実を持つ大悪尉	1992(平成4)	水彩、紙	39.0×27.2
21 水彩画	内田 慎蔵	枯木	—	水彩、紙	27.0×39.0
22 水彩画	内田 慎蔵	枯木と鳥	1992(平成4)	水彩、紙	39.0×27.2
23 水彩画	内田 慎蔵	月に吠える	—	水彩、紙	37.8×26.6
24 水彩画	内田 慎蔵	無題	—	水彩、紙	39.2×27.0
25 水彩画	内田 慎蔵	無題	—	水彩、紙	37.6×26.8
26 水彩画	内田 慎蔵	無題	—	水彩、紙	38.0×26.8
27 水彩画	内田 慎蔵	鳩笛	—	水彩、紙	36.5×27.0
28 水彩画	内田 慎蔵	五月の静物	—	水彩、紙	37.8×26.5
29 水彩画	内田 慎蔵	無題	—	水彩、紙	36.0×25.4
30 水彩画	内田 慎蔵	裸婦	—	水彩、紙	32.8×23.0
31 水彩画	内田 慎蔵	裸婦	—	水彩、紙	34.8×23.8
32 洋画	馬場 彬	作品	1960(昭和35)	油彩、キャンバス	73.2×91.9
33 洋画	馬場 彬	作品	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	91.0×117.0
34 洋画	馬場 彬	作品III	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	112.5×145.0
35 洋画	馬場 彬	作品	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	91.0×117.0
36 洋画	馬場 彬	作品(囚)	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	162.0×130.5
37 洋画	馬場 彬	作品	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	130.3×162.0
38 洋画	馬場 彬	トルソ・メタフィジック	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	162.1×130.3
39 洋画	馬場 彬	浮遊	1981(昭和56)	油彩、キャンバス	130.3×162.0
40 洋画	馬場 彬	アンチ・モニュマン	1981(昭和56)	油彩、キャンバス	130.3×162.0
41 洋画	馬場 彬	リフレクション・余白と隙間2	1983(昭和58)	油彩、キャンバス	130.5×162.2
42 洋画	馬場 彬	箱のなかのこと	1987(昭和62)	油彩、キャンバス	131.0×194.4
43 洋画	馬場 彬	作品名不詳	1993(平成5)	油彩、キャンバス	130.5×90.0
44 洋画	馬場 彬	作品名不詳	1993(平成5)	油彩、キャンバス	41.0×53.3
45 洋画	馬場 彬	作品名不詳	1994(平成6)	油彩、キャンバス	194.3×130.6
46 洋画	馬場 彬	にしもない瞑想—黄	1995(平成7)	油彩、キャンバス	182.2×227.6
47 洋画	馬場 彬	モニュマン	1995(平成7)	油彩、キャンバス	130.7×162.3
48 洋画	馬場 彬	水平時間	1995(平成7)	油彩、キャンバス	162.5×194.5
49 洋画	馬場 彬	赤の小景	1995(平成7)	油彩、キャンバス	91.5×117.0
50 洋画	馬場 彬	作品名不詳	1995(平成7)	油彩、キャンバス	91.2×65.7
51 洋画	馬場 彬	二つで一つのコンポジション	1997(平成9)	油彩、キャンバス、2点組	各162.0×123.3
52 洋画	馬場 彬	作品名不詳	1999(平成11)	油彩、キャンバス	91.5×73.1
53 版画	馬場 彬	『Pink of Gray』I. 静物A	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	36.1×36.2
54 版画	馬場 彬	『Pink of Gray』II. リレイション	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	46.5×61.8

55	版画	馬場 彬	「Pink of Gray」Ⅲ. コンポジションA	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	35.0×62.2
56	版画	馬場 彬	「Pink of Gray」Ⅳ. コンポジションB	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	61.4×46.0
57	版画	馬場 彬	「Pink of Gray」V. 情念的トライアングル	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	58.5×49.1
58	版画	馬場 彬	「Pink of Gray」VI. 展開	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	63.7×48.3
59	版画	馬場 彬	「Pink of Gray」VII. コンポジションC	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	47.6×47.8
60	版画	馬場 彬	「Pink of Gray」VIII. おかしな水さしと カップの関係におけるピンクの配置	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	45.5×60.5
61	版画	馬場 彬	「Pink of Gray」IX. 人物	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	59.1×45.9
62	版画	馬場 彬	「Pink of Gray」X. 風景	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	39.9×24.4
63	版画	馬場 彬	「Pink of Gray」XI. ニルヴァーナの志向性 におけるエロス	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	48.9×64.3
64	版画	馬場 彬	「Pink of Gray」XII. 静物B	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	25.5×36.4

令和6年度末 収蔵品数：2,900

アーカイブ数：画像1,064点、目録1,026点

● 図書資料

分類	令和6年度新収図書	分類別合計
一般図書	美術総記	6 1,953
	日本美術	7 3,006
	西洋美術	0 696
	東洋、その他の美術	0 154
	秋田資料	5 684
	関係諸学	1 990
所蔵品図録、研究報告、年報	117	6,750
展覧会図録	186	10,087
美術雑誌他	53	7,720
計	375	32,040

美術品の貸出

No	貸出先	展覧会名	貸出期間	作品名
1	平野政吉美術財団	常設展示	2019/05/16- 長期貸出	藤田嗣治「裸婦立像」ほか24点
2	名都美術館	福田豊四郎と堀文子 —描く歓び、生きる歓び—	2024/3/29 -2024/6/15	福田豊四郎「樹氷」、堀文子「廃墟」ほか 41点
3	京都府立堂本印象 美術館	生誕120年記念 モダニスト福田豊四郎、秋田を描く 土田麦僊に愛された日本画家	2024/9/19 -2024/11/29	福田豊四郎「樹氷」、土田麦僊 書簡 ほか 36点
4	四日市公害と環境 未来館	中村征夫写真展 Magic of the blue ～深遠なる海への旅路～	2024/9/8 -2024/11/30	中村征夫「海中2万7000時間の 旅」シリーズ ほか 325点
5	秋田県文化振興課	秋田県芸術選奨50年記念展	2024/3/12 -2024/3/27	横山津恵「山のマロニエ」スケ ッチ1点
6	府中市美術館	かっこいい油絵 司馬江漢と亜欧堂田善	2025/2/19 -2025/5/16	石川大浪・孟高「ファン・ロイ エン花鳥図模写」1点

美術品保存

● 美術品保存・修復

◆野外彫刻の修理

バリー・フラナガン 《鐘の上で跳びはねる野兎》

【被害の状況】

彫刻広場の中央付近に設置している、彫刻「鐘の上で飛びはねる野兎」(バリー・フラナガン)の兎を支えている台座部分のアーチが曲がり、兎の右後ろ足が折れている状態となった。

【災害の概要】

令和2年12月から令和3年2月にかけて降雪量が多く、当館周辺は最も多いときで積雪が2mを超えており、3月中旬も1m程雪が残っている状態であった。降雪前に異状がなかったことやこのような冬期間の状況から、彫刻の破損は積雪によるものと推測される。本件は令和3年4月17日、積雪による彫刻破損ということで災害状況報告を提出している。

【修理について】

以降、国内のフラナガン作品の状態や修理の場合の手順等を調査した上で、令和6年の経常予算の範囲内で可能な限り修理を行う、という判断に至った。県内で美術工芸品（ブロンズ）修理の実績がある有限会社武藤工芸鑄物へと依頼して、右後ろ足の溶接および補修を行い、曲がったアーチ部分は無理に戻すことはせず、支柱パーツに角度をつけて兎を水平状態に維持する加工を行った。

● 重要文化財等指定

国指定重要文化財

No.	指定年月日	名 称	備 考
1619	昭和43. 4. 25	絹本著色不忍池図（小田野直武筆）1面	
1971	平成11. 6. 7	絹本著色唐太宗花鳥図（小田野直武筆）3幅	

秋田県指定有形文化財

No.	指定年月日	名 称	備 考
絵 9	昭和32. 4. 4	絹本著色芍薬花籠図（小田野直武筆）1幅	
絵17	昭和53. 2. 14	小田野直武筆写生帖 1冊	
絵19	昭和57. 1. 12	鶴之図（沈南蘋筆）2幅対	
絵21	平成16. 3. 19	紙本着色ファン・ロイエン筆 花鳥図模写 1幅	
絵22	平成17. 3. 22	平福穂庵筆 乳虎 1幅	
絵23	平成20. 3. 21	寺崎廣業筆 高山清秋 6曲1双	
絵24	平成20. 3. 21	平福百穂筆 春山 1幅	
絵25	平成23. 3. 22	小田野直武筆 富嶽図 1幅	
歴21	平成28. 3. 25	白雲筆 奥州街道並羽州街道風景図 1帙2帖	
絵33	令和 4. 3. 29	平福穂庵筆 緑蔭清談 1幅	
絵34	令和 6. 3. 22	寺崎廣業筆 濡湘八景 8幅	

燻蒸

実施期日：2025(令和7)年1月24日(金)～1月29日(水) 【6日間】

燻蒸場所：6階展示室（3室） 総容積 2,891.0m³

実施業者：関東港業株式会社

※ 燻蒸容積：2階収蔵庫（2室）	1,281.8m ³
3階収蔵庫（3室）	2,091.0m ³
5階展示室（4室）	4,596.0m ³
6階展示室（3室）	2,891.0m ³
地下1階一時保管庫	217.1m ³

収蔵庫及び一時保管庫に保管している美術品及び関係資料をカビ・害虫から守るため、令和6年度は燻蒸を関東港業株式会社に委託し、上記6日間にわたり実施した。酸化プロピレン（C₃H₆O）を気化器によりガス化投薬し、内部濃度を基準有効濃度48g/m³の基準として48時間密閉燻蒸を行った。ガス濃度測定は、ガスが均一化するまでは1時間毎に、ガスが均一化した後は2時間毎に行った。燻蒸期間中は、安全確保の措置を取る。ガス解放は強制ファン等を使用し、速やかに行つた。供試虫、供試菌による燻蒸効果判定は(財)文化財虫菌害研究所で行い、2月に良好と認め、合格と判定した。

調査・研究業績

仲町啓子

講 座 美術館講座「特任館長講座」《江戸時代の美術と文化Ⅲ 宗達・光琳・抱一》(全8回)
※5/11(土)、6/8(土)、7/13(土)、8/24(土)、9/21(土)、10/26(土)、11/16(土)、12/7(土)

木村雅洋

実技講座	みんなの教室「木でつくる からくりボックス」	7/28
講 座	秋田魁新報社主催・さきがけこども新聞関連講座「戦争と美術～芸術家たちがみた時代～」 (会場：横手市栄小学校)	6/25
作品解説	秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」282 金曜ロードショーとジブリ展	10/2
作品解説	秋田さきがけコミュニティーマガジン『郷』 秋号 vol.159 「村里の生活風俗詩情豊かに」	
論 考	日仏教育学会『年報』第31号 シンポジウム報告「秋田県における美術館の取組み セカンドスクール～県内文化施設・学校・地域社会等との連携について」	

秋田達也

作品解説	大倉集古館『特別展 浮世絵の別嬪さん』(図録)「重要文化財 葛飾北斎《二美人図》」	4/9
作品解説	大倉集古館『特別展 浮世絵の別嬪さん』(図録)「葛飾北斎《詠歌美人図》」	4/9
書籍紹介	『浮世絵芸術』188 大久保純一著『葛飾北斎 浮世絵風景画の大成者』(日本史リブレット人055)	7/20
展覧会後記	『浮世絵芸術』188 「奇想天外×大胆不敵 浮世絵師 歌川国芳展」	7/20
展覧会紹介	秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」271 特別展「THE新版画一版元・渡邊庄三郎の挑戦」	7/17
展覧会紹介	秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」299 コレクション展「空色ーうつりゆく景色」	2/5
作品解説	秋田さきがけコミュニティーマガジン『郷』冬号 vol.160 「堀川達三郎《杜》」	
作品解説	『浮世絵芸術』189 表紙「川瀬巴水《湯宿の朝(塩原新湯)》」	1/20
作品解説	秋田さきがけコミュニティーマガジン『郷』春号 vol.161 「勝平得之《秋田十二景 長堤早春》」	
委 員	国際浮世絵学会 理事・編集委員	

保泉 充

作品解説	秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」 特別展「岩合光昭写真展 こねこ」	4/17
講 座	あきた県庁出前講座 生涯学習課「メタバース×キンビ」高齢者の作品鑑賞	12/3
講 座	あきた県庁出前講座 生涯学習課「メタバース×キンビ」を体験しよう(秋田視覚支援学校)	1/16

藤井正輝

実技講座 みんなの教室「羽子板に描こう!」 12/1

北島珠水

講 座	あきた県庁出前講座「キンビアートカードを使った鑑賞活動」(三種町:みたね大学)	5/31
実技講座	きつずあーと「おさかなすいぞくかん」	8/3
実技講座	美術館教室「アクリル画教室」	9/8
講 座	あきた県庁出前講座「キンビアートカードを使った鑑賞活動」(能代支援学校)	11/6
作品解説	秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」302 特別展「笑う! はひふへほ展」	2/26
事 業	「みんなのキンビ」プロジェクト(令和6年度文化庁Innovate MUSEUM事業)	通年

奈良 香

作品解説	秋田さきがけコミュニティーマガジン『郷』夏号 vol.158 「福田豊四郎《水辺の夏》」	
講 座	総合教育センター研修講座「育成する資質・能力から考える図画工作科の授業」	6/21
作品解説	秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」275 コレクション展「水辺の風景」	8/14
実技講座	きつずあーと「スタンプぺったんアート」	9/1
講 座	あきた県庁出前講座「あきたの美術」(八郎潟町:高齢者大学)	10/22
作品解説	秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」290 ネットワーク事業「物語のある絵画」	11/27

鈴木 京

講 演 会	「平福穂庵筆『乞食図』にみえるもの」(仙北市立角館樺細工伝承館)	7/27
講 座	「小田野直武資料について」仙北市役所角館庁舎	7/30
講 座	あきた県庁出前講座「あきたの美術」(飯島地区コミュニティセンター)	11/20
論 考	「平福穂庵の画業——地方画家が迎えた近代」『出羽路』165号	3月
論 考	「平福穂庵」『列島の日本美術史』ミネルヴァ書房	3月
作品解説	秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」261 コレクション展「美術館であいましょう」	4/8
作品解説	秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」305 企画展「Collection meets □□」	3/19

刊行物

◆2023年度 秋田県立近代美術館年報 2024年10月発行 PDF配布のみ

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 88 2024年9月30日発行 A3判三折

【目次】

- ・[報 告] 特別展「岩合光昭写真展 こねこ」
- ・[報 告] 特別展「THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦」
- ・[予 告] 特別展「金曜ロードショーとジブリ展」
- ・[報 告] コレクション展第Ⅰ期、第Ⅱ期
- ・[準備中] 「みんなのキンビ」プロジェクト進捗
- ・[紹 介] メタバース、新ロゴマーク
- ・[報 告] 2024年度 上半期の美術館事業事業一覧

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 89 2024年3月30日発行 A3判三折

【目次】

- ・[報 告] 特別展「開館30周年記念 金曜ロードショーとジブリ展」
- ・[報 告] 特別展「みんなのキンビ」プロジェクト企画「笑う！ はひふへほ展」
- ・[開催中] 企画展「Collection meets □□」
- ・[開催中] コレクション展第Ⅲ期
- ・[報 告] ふれんどりーギャラリー
- ・[告 知] 令和7年度改修について
- ・[報 告] ネットワーク事業
- ・[報 告] 2024年度 下半期の美術館事業、セカンドスクール利用

※ 秋田県立近代美術館ニュース『ARK(アーク)』

秋田県立近代美術館では、展覧会の概要やさまざまな美術館活動などの広報を目的とし、美術館ニュース「ARK」を年2回発行している。(平成20年度よりデザインを親しみやすいものに改変した)「ARK」とは、ラテン語で「箱」を意味する言葉で、『聖書』では、ノアが大洪水から逃れた箱船のことをさす。当館の外観が“空中に浮遊する巨大な箱船”に見えることから命名された。

◆2025年度行事案内リーフレット(年間スケジュール) 2025年3月発行 A4 2頁

◆「みんなのキンビ」プロジェクト 令和6年度 実施報告書 2025年3月発行 A4 47頁

入館状況

令和6年度 月別入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数(人)	3,424	6,913	5,155	3,906	3,078	4,491	33,212	57,489	45,322	42,989	1,503	2,239	209,721

利用者数一覧表

事業別 区分	入館者	特別展入場者					企画展入場者			その他 ※(2)	
		岩合光昭写真展 こねこ	THE新版画 版元・渡邊庄三 郎の挑戦	金曜ロードショ ーとジブリ展	笑う！ はひふ へほ展	計	アキタの書・ その魅力 ※(3)	Collection meets □□ ※(4)	計	計	計
開催期間	4/1(土) ～3/31(月)	4/20(土) ～7/15(日)	7/20(土) ～9/23(日)	10/12(土) ～1/13(月・祝)	2/8(土) ～3/9(日)		2024/4/1(土) ～4/14(日)	2025/3/15(土) ～3/31(月)			
日数(日)※(1)	352	87	66	94	31	278	14	17	31	43	
利用者数(人)	209,721	13,836	3,629	172,142	1,282	190,889	812	1,211	2,023	16,809	
一日平均(人)	596	159	55	1,831	28		58	71			
有 料	一般・学生		10,411	2,442	148,180	502	161,535	-	-	0	0
	シルバー		-	-	-	62	62	-	-	0	0
	身障 一般・学生		648	158	-	-	806	-	-	0	0
	団体 一般・学生		77	53	-	2	132	-	-	0	0
	合計		11,136	2,653	148,180	566	162,535	0	0	0	0

※(1) 日数は、年末休館(令和5年12月30日～令和6年1月2日)及びメンテナンス休館(令和6年1月22日～31日)を除く。

※(2) その他利用者数の内訳は、次のとおり

- 特別展期間中の入館者：7,339人
- ネットワーク事業（県立図書館）：5,666人
- 出前美術展（能代エナジアムパーク）：1,765人
- 常設展(5F展示替期間)：1,747人
- 出前講座等(館外)：292人

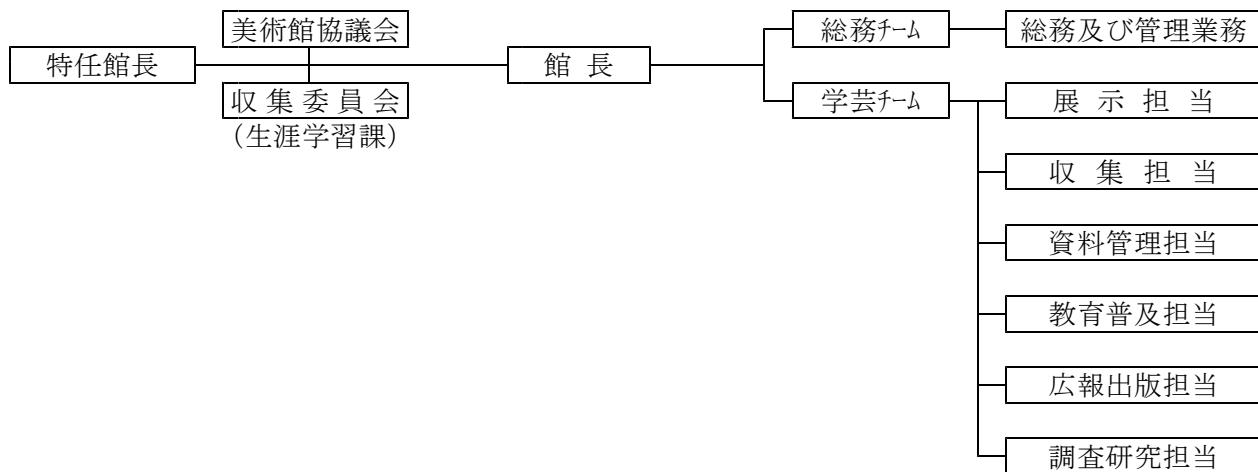
※(3) 企画展「アキタの書・その魅力」は、令和5年2月3日～令和5年4月14日まで開催。

※(4) 企画展「Collection meet □□」は、令和6年3月15日～令和6年4月20日まで開催。

組織

令和6年4月1日付

組織図



職員

名 誉 館 長	河野 元昭	美 術 資 料 整 備 員	本間恵里子
特 任 館 長	仲町 啓子	学 芸 補 助 員	菅原 希
館 長	田中 博光	解 説 員	佐藤 美佳
学芸主事(兼)チーマー	木村 雅洋		原 彩野
副主幹(兼)チーマー	高久 豊		赤川和歌子
専 門 員	石井 和章		佐々木瑞穂
主 任	福田 裕奈		三浦 淑恵
主 事	須田 愛美		小棚木恵子
副主幹(兼)学芸主事	秋田 達也		岸 穂乃香
学 芸 主 事	藤井 正輝		藤田 園
	北島 珠水		菊地 佳奈
	奈良 香	解 説 員	柴田 幸恵
主查(兼)学芸主事	保泉 充	業 務 補 助	伊藤 綾子
	鈴木 京		中田 豊信
技 能 主 任	伊藤 正信		

美術館協議会委員

会 副 会 長	木村 司	横手市立横手南小学校長
	伊藤 聖子	秋田ふるさと村営業部イベント企画広報課長
	荒川 康一	秋田魁新報社文化部長
	池田 聖子	色々美術研究所代表
	石井 令人	日本放送協会秋田放送局長
	打川 敦	横手市観光推進機構理事長
	小笠原 豊	小笠原樺工房代表
	鎌田あかね	L i t t l e A 代表
	木村 智子	横手市教育委員会生涯学習課長
	長沢 薫	秋田県書道連盟常任理事

関係法規

秋田県ふるさと村条例（抜粋）

第1章 総 則

(設置)

第1条

秋田県の文化遺産を次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、及び観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、もって県民のゆとりのある文化的な生活の向上に寄与するため、秋田県ふるさと村（以下ふるさと村という）を横手市赤坂字富ヶ沢に設置する。

(業務)

第2条

ふるさと村は、次の表の上欄に掲げる施設の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる業務その他ふるさと村の設置の目的を達成するために必要な業務を行う。

施 設	業 务
秋田県立近代美術館	県にゆかりある作家の優れた美術作品を中心 に収集し、保管し、及び展示し、併せて美術 に関する調査研究及び普及活動を行う。

第2章 近代美術館

(近代美術館)

第4条

秋田県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に規定する教育機関とする。

(職員)

第5条

近代美術館に事務職員その他の所要の職員を置く。
(近代美術館協議会)

第6条

近代美術館に博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第2項に規定する博物館協議会として、秋田県立近代美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- 一 学校教育及び社会教育の関係者
- 二 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- 三 学識経験のある者
- 四 近代美術館の利用者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(入場料等の徴収)

第7条

近代美術館の特別展示室（特別の企画に基づく展示

を行う展示室をいう。以下同じ）に入場する者から、別表第1に定めるところにより、入場料を徴収する。ただし、幼児、小学校児童、中学校及び高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生（これらの者に準ずる者を含む。）については、この限りではない。

2 前項本文の規定にかかわらず、同項本文の入場料と合わせてふるさと村のスノーホワイト城又はかまくらシアターの使用料を同時に納める者の入場料（定期券によるものを除く。）については、別表第1に定める金額の範囲内において知事が別に定める。

3 入場料は、特別展示室への入場の都度徴収する。ただし、定期券による入場にあたっては、これを発行するときに徴収する。

(入場料等の減免)

第8条

知事は、特別の理由があると認めたときは、入場料を減免することができる。

(入場料等の不還付)

第9条

既に徴収した入場料は、還付しない。ただし、知事は、入館者の責めに帰することができない理由により特別展示室に入場することができなくなった場合その他特に必要があると認めた場合は、その一部又は全部を還付することができる。

(規則への委任)

第10条

この条例に定めるもののほか、近代美術館の管理に關し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

この条例は、平成31年10月1日から施行する。

別表第1

特別展示室の入場料（第7条関係）

区 分	金額（一人につき）
普通料金	840円。ただし、知事が別に定める展示にあっては、1,500円を超えない範囲内で知事が定める額
団体料金 (20人以上の団体)	750円。ただし、知事が別に定める展示にあっては、1,350円を超えない範囲内で知事が定める額
定期券 (有効期間 1年)	2,500円。

教育機関の管理及び運営に関する規則（抜粋）

(趣旨)

第1条

この規則は、学校以外の教育機関の管理及び運営の基本的事項を定めるものとする。

第12条

条例第5条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、別に定めるところにより、申請書を知事に提出しなければならない。

第8章の2 近代美術館

(開館時間)

第37条の2

秋田県立近代美術館（以下この章において「近代美術館」という。）の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、近代美術館の長（以下この章において「館長」という。）は、必要があると認めるときは、当該時間を変更することができる。

(休館日)

第37条の3

近代美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 1 年始（1月1日及び1月2日）
- 2 年末（12月29日から12月31日まで）

(資料の館外貸出し等)

第37条の4

近代美術館の資料の館外貸出しを受け、又は特別利用しようとする者は、館長の定めるところにより、所要の手続きを経なければならない。

(準用)

第37条の5

第3条第3項及び第4項の規定は近代美術館の休館日の取扱い等について、第6条の規定は近代美術館の利用を拒否し、又は近代美術館からの退去を命ずる場合について、第7条の規定は近代美術館に資料を寄贈する場合等の手続について、第12条の規定は秋田県ふるさと村条例(平成5年秋田県条例第45号)第8条の規定による入場料の減免を受けようとする場合について準用する。

(補則)

第37条の6

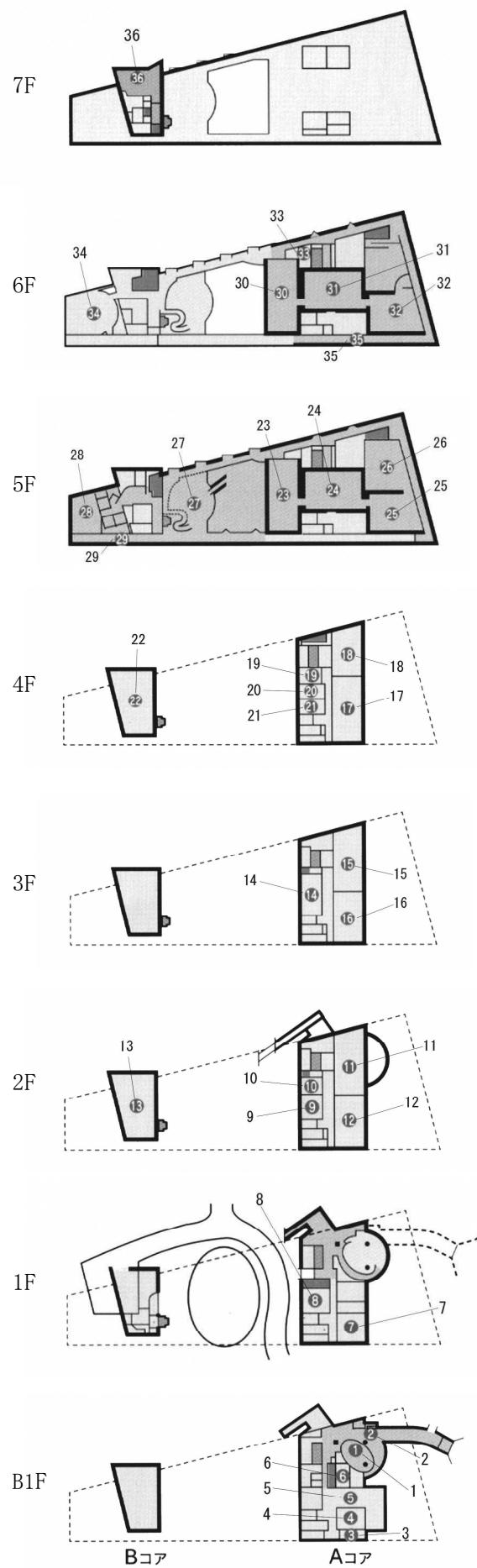
この章に定めるもののほか、近代美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、館長が教育長と協議して別に定める。

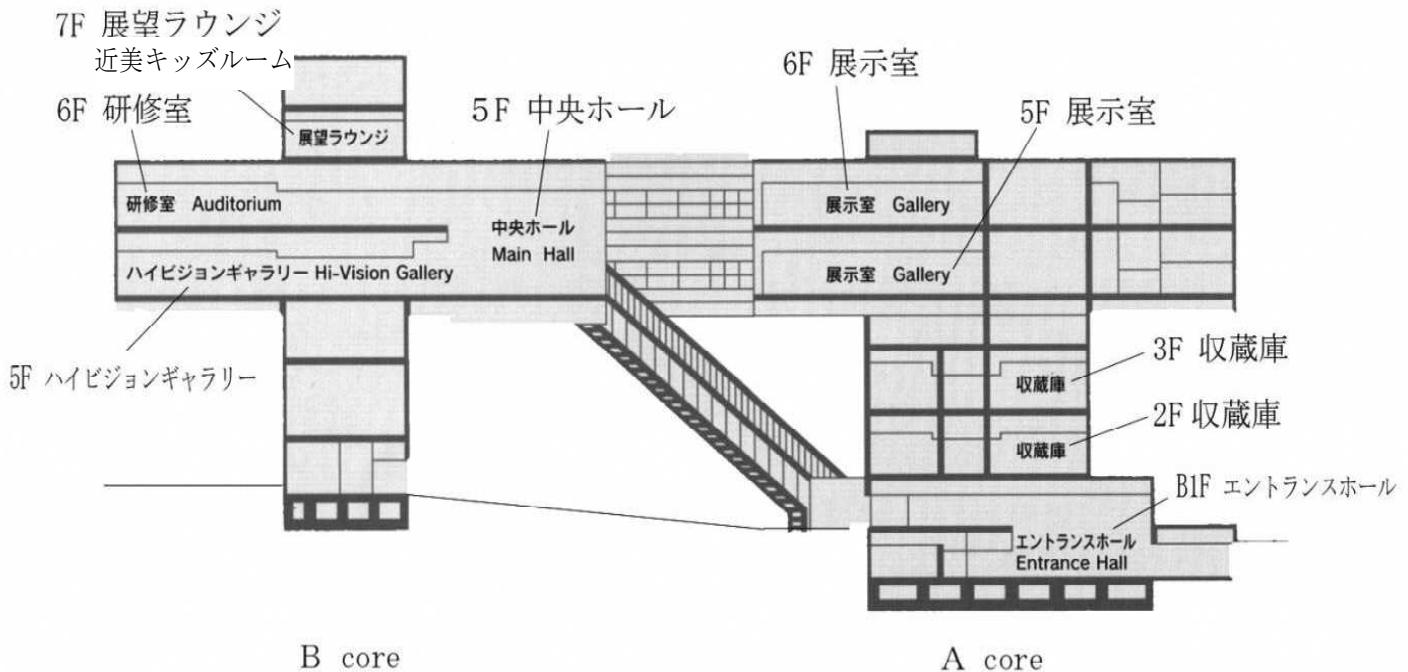
附則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

館内図

7F	36	近美キッズ・ルーム	Kid's Room
6F	35	スロープギャラリー	Slope Gallery
	34	研修室	Auditorium
	33	授乳室	Baby Room
	32	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	31	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	30	展示室(1)	Exhibition Gallery1
5F	29	ふれんどりーギャラリー	Friendly Gallery
	28	ハイビジョンギャラリー	Hi-Vision Gallery
	27	中央ホール	Main Hall
	26	展示室(4)	Exhibition Gallery4
	25	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	24	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	23	展示室(1)	Exhibition Gallery1
4F	22	電気室	Electric Room
	2	調査・研究室	Study Room
1		館長室	Director's Room
	20	応接室	Lounge
	19	図書・資料室	Library
	18	事務室	Museum Office
	17		
3F	16	収蔵庫(5)	Storage Room5
	15	収蔵庫(4)	Storage Room4
	14	収蔵庫(3)	Storage Room3
2F	13	機械室	Machine Room
	12	収蔵庫(2)	Storage Room2
	11	収蔵庫(1)	Storage Room1
	10	暗室	Dark Room
	9	写真室	Photo Studio
1F	8	会議室	Conference Room
	7	実習室	Atelier
B1F	6	燻蒸室	Fumigation Room
	5	荷解室	Packing Room
	4	一時保管庫	Temporary Storage Room
	3	管理室	Guard Room
	2	インフォメーション	Information
	1	エントランスホール	Entrance Hall





- 1 **エントランスホール** 彫刻が並ぶアプローチギャラリーを抜けると大理石の壁に囲まれたエントランスホールが広がります。
- 2 **エスカレーター** 外の景色をながめながら、1階から5階へと皆様をお連れします。
- 3 **中央ホール** 自然光一杯のアトリウムは展示スペースへの入り口です。正面にハイビジョンギャラリー、右へ進むと展示室へと続きます。
- 4 **ハイビジョンギャラリー** 美術館の所蔵品や国内外の名作を高精細度の画像で提供するスペースです。
- 5 **展示室** 5階4部屋の企画展示室では、美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を特色あるテーマでご紹介します。また6階3部屋のコレクション展示室では、年4~6回の展示替えを行なながら、美術館の所蔵品を常時公開しています。
- 6 **実習室** 専門的な技法講座や基礎的な美術講座など、幅広い実技講座を行います。
- 7 **研修室** 充実したAV機器を完備し、展覧会に合わせた講演会の開催や美術史講座など、多目的に活用できるスペースです。
- 8 **収蔵庫** 5室からなる収蔵庫は、温湿度管理によって多くの作品保存・管理に対応できる機能をもっています。
- 9 **野外展示スペース** 自然の起伏を利用した緑の中の展示空間です。見るだけでなく、直に触れることで、より身近に作品を鑑賞していただけます。

建築・設備概要

建築概要

建設地／ 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
敷地面積／ 156,100.39m²(秋田ふるさと村)
建築面積／ 2,947.32m²
延床面積／ 11,166.50m²
構造／ 鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
地下1階 地上7階 PH1階
設計／ 株式会社 山下設計東北支社
監理／ 秋田県土木部営繕課・山下設計東北支社

空調設備

熱源設備／ 吸収式冷温水発生機2000RT×2台 LPG
焚真空式温水ボイラー80,000Kcal/H×1台
空調設備／ ユニット型空調機(還風機組込型)×4台
ユニット型空調機(全熱交換機組込一体型)×5台
ファンコイルユニット天井カセット型×105台
水冷式パッケージ型空調機×6台
空冷式ヒートポンプ型パッケージ×3台
換気設備／ 第1種及び第3種換気方式
排煙設備／ 機械排煙及び自然排煙
自動制御設備／ 機能分散型
燐蒸設備／ 常圧手動式ユニット型20m²

給排水衛生設備

給水設備／ 上水引込口径75mm 重力給水方式
受水槽24m³ 高置水槽6m³
給湯設備／ 局所式(電気貯湯式)：各階湯沸室・宿直室ガス
排水設備／ 建物内：汚水・雑排水・雨水の各分流式
建物外：生活排水はふるさと村施設全体の浄化
槽へ導入
ガス設備／ ふるさと村施設全体の集中LPG装置より供給
主に空調用熱源のエネルギー源として利用
消火設備／ 炭酸ガス消火・屋内消火栓

設備概要

電気設備

受変電設備／ 受電電圧3f 3W 6.6KV 50Hz
設備容量1,500KW
非常用発電設備／ ディーゼル発電器(A重油)300KVA200V
蓄電池設備／ 非常照明・電源設備制御兼用 250Ah×1台
監視設備／ 中央監視装置：機能分散型DDC方式による
集中監視制御
照明設備／ 蛍光管主体
展示室照明：高演色性蛍光管(調光及び集中点滅
制御方式)
外壁照明：無電極ランプ(パターン照明方式)
視聴装置設備／ 拡声放送・電気時計・身障者トイレ呼出表示・
TV共聴研修室AV装置・ハイビジョンギャラ
リー4系統(80インチ液晶モニター1台・60インチ
液晶モニター3台)ハイビジョンデータベース
システム1系統(32インチ液晶モニター1台)
防犯設備／ 防犯センサー・ITV装置
防災設備／ 自動火災装置・防排煙設備

エレベーター設備

乗用エレベーター	1150kg	105m/分	2台
乗用エレベーター	1150kg	90m/分	1台
荷物用エレベーター	3000kg	45m/分	1台
小荷物用エレベーター	300kg	30m/分	1台

エスカレーター

展望エスカレーター 9000人/時 30m/分 1台

主な設備

5階展示室(4室計)	983.10m ²	収蔵庫(5室計)	852.9m ²
(1室)	260.28m ²	会議室	69.4m ²
(2室)	293.76m ²	実習室・準備室	135.0m ²
(3室)	237.13m ²	図書資料室	160.5m ²
(4室)	191.93m ²	調査研究室	45.5m ²
6階展示室(3室計)	786.85m ²	ハイビジョンギャラリー	241.9m ²
(1室)	255.96m ²	研修室	226.7m ²
(2室)	293.76m ²	キッズ・ルーム	128.9m ²
(3室)	237.13m ²		

利用案内

交通案内 Transportation

◆開館時間

午前9時30分～午後5時00分
(入館は午後4時30分まで)

◆休館日 (2024年度)

2024年12月30日～2025年1月1日(年末休館)
2025年1月22日～1月31日(メンテナンス休館)

◆料金

	一般	高・大学生	小・中学生	未就学児	障害者
特別展 岩合光昭写真展	1,100円	700円	無料	無料	半額
団体(20名～)・前売り	900円	500円			
特別展 THE 新版画	1,200円	800円	無料	無料	半額
団体(20名～)・前売り	1,000円				
特別展 金曜ロードショー とじぎり展	一般 土日祝 1,800円 平日 1,500円	中高生 1,500円 600円	小学生 900円 600円	未就学児 無料	障害者 無料
特別展 笑う!ばひふへ展	一般 500円	高・大学生 無料	小・中学生 無料	未就学児 無料	障害者 無料
団体(20名～)	450円				
企画展・コレクション展	無料	無料	無料	無料	無料

教育課程に基づく学習活動として利用する幼児・児童・生徒・学生及び引率者の入館料は免除されます。あらかじめ「観覧料免除申請書」を提出し、その承認を受けて下さい。

General Information

◆Museum hours

9:30 a.m. ~5:00 p.m. (Last Admission 4:30 p.m.)

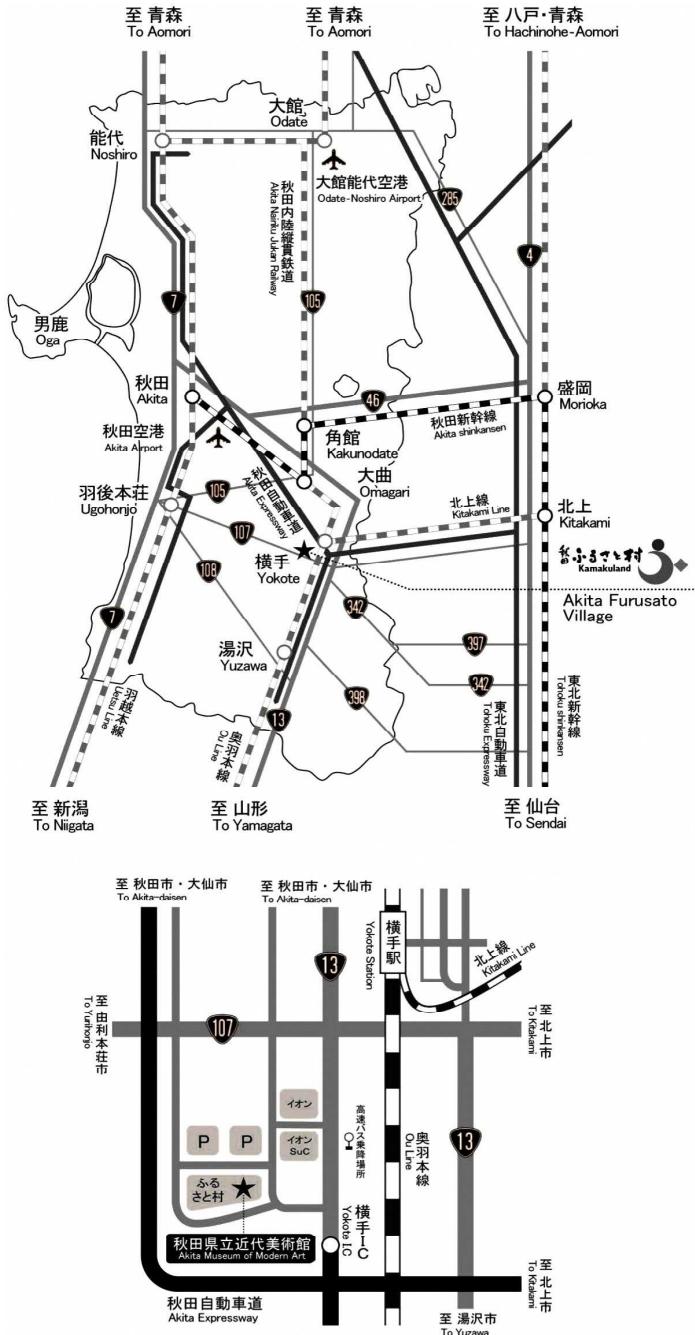
◆Closed (Fiscal year 2024)

Dec. 29, 2024 – Jan. 1, 2025 Year-end Holidays
Jan. 22 – 31, 2025 Maintenance Week

◆dmission Fee

	adult	senior HS & college	elementary & junior HS	pre-school	handicapped
Special Exhibition Iwago Mitsuki※	¥1,100 ¥900	¥700 ¥500	¥0	¥0	Half
Special Exhibition THE Shirahige※	¥1,200 ¥1,000	¥800	¥0	¥0	Half
Special Exhibition Ghibli	adult ¥1,800 ¥1,500	junior & senior HS ¥1,500 ¥1,200	elementary ¥900 ¥600	pre-school ¥0	handicapped ¥0
Special Exhibition Warau! hahihuheho	adult ¥500 ¥450	senior HS & college ¥0	elementary & junior HS ¥0	pre-school ¥0	handicapped ¥0
Permanent Exhibition	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0

※ Group Discount(20 persons and more)& an advance ticket.



◆ (JRとバスで)

JR横手駅東口からバスで、「ふるさと村」下車

◆ (お車で)

秋田自動車道 横手インターチェンジより3分

◆ (高速バスで)

高速バス 湯沢・秋田線「横手インターチェンジ入口」下車、徒歩10分

◆(By JR train and bus)

Get off at JR Yokote Station. Go out of the East Exit and take the bus for Akita-Furusato Mura.

◆(By car)

Get off at Yokote Interchange on the Akita Express Way, then you will get there in 3 minutes.

◆(By Express bus, Yuzawa-Akita Line)

Get off at "Yokote Interchange", then you will get there in 10 minutes on foot.

秋田県立近代美術館年報 2025年6月発行
編集・発行 秋田県立近代美術館

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
TEL. 0182-33-8855 FAX. 0182-33-8858
<https://akita-kinbi.jp/>
E-mail: akitamma@rnac.ne.jp